



增補  
頭書

列蒙圖彙大成

五

1加3  
467  
5

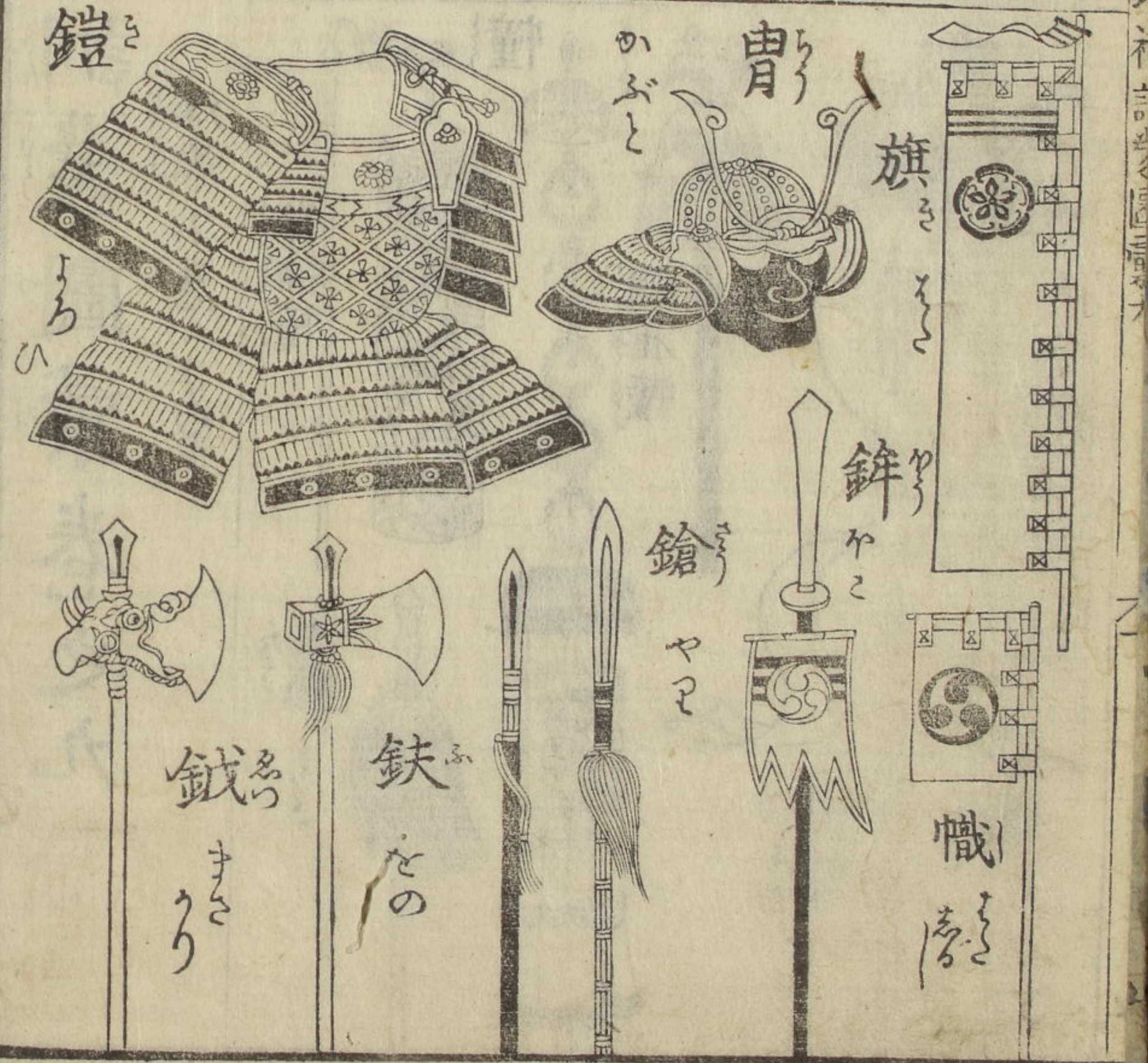




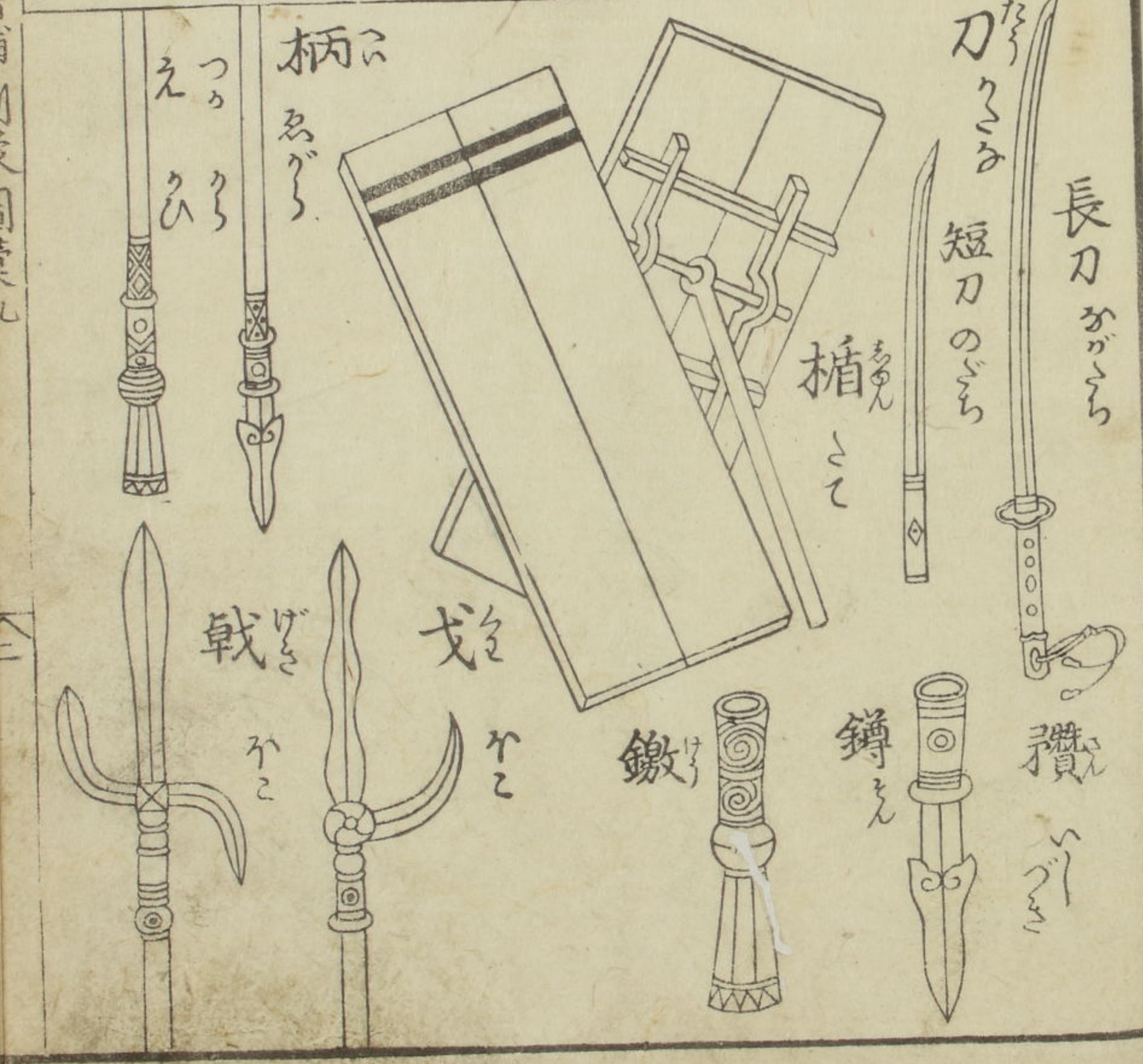




○毒縣の皂絲ふてつる  
 蚩尤の首にやうり黄帝  
 のとれた女をまつる  
 ○旗のこの惣名あり  
 黄帝よりしるる軍將  
 のころあり幟い  
 ぶ  
 ○冑の兜致金とらるる  
 黄帝  
 のころあり  
 ○鎧の金物の十三而上座  
 乃教中何鞞冑といふ  
 卷矢返志加の銀水呑の  
 鏝再幣付等  
 故ふ具足  
 ○鉞の長さ二丈兵車に



つるりのあり形同  
 ○鎗の應仁文明の比より  
 つるり唐より黄  
 帝蚩尤よりひの附始  
 ○鉞の斧の大きりのあり  
 重さ八斤あり柯大あり  
 ○刀の黄帝首山の銅を  
 きて鑄て鑄て刀とを  
 ○短刀の能太知今の  
 ぎしあり  
 ○楯の楯本樟木号瓜  
 のりくゆるわつさ三四五  
 寸と一二尺の内介長三  
 五尺盾干楯牌並同  
 ○柄の劔頭あり洗くといふ  
 鎗長刀にてハとハとあり



兵部省繪圖集















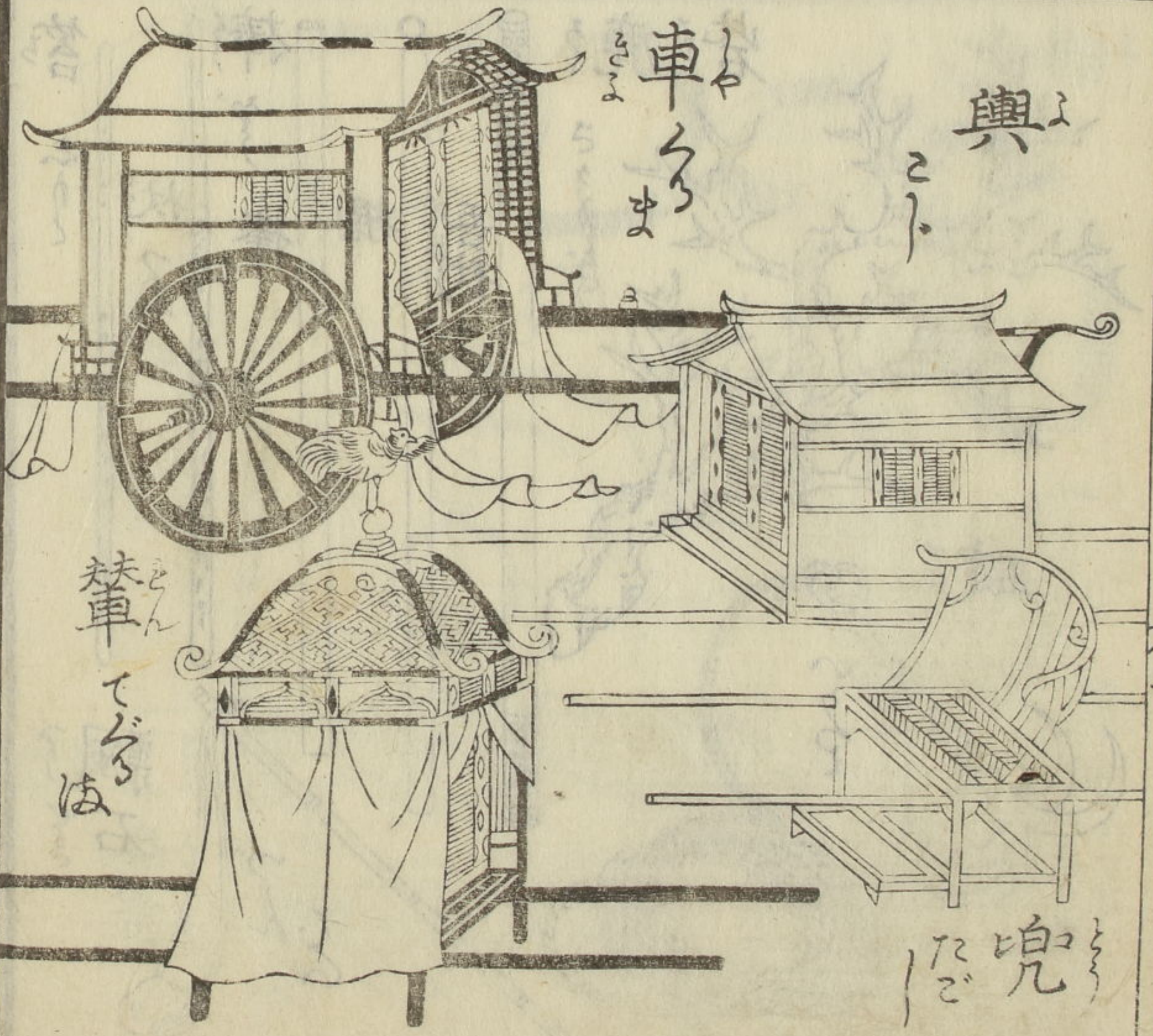
腹帯

○ 龍馬の頭瓜まると飾  
あり又絡頭とも書べし  
○ 鞭の策筈同又櫛と  
も書べし馬のむらあり  
○ 韃の手綱あり口にあ  
と轆とよハ八尺又九尺二  
三寸のものあり  
○ 犀脊の鎧のちこにき  
たごつひあり鐵小てつ  
○ 障泥の鞍のふりあり轆  
鞆同熊鹿の皮あて作  
○ 鉗枷とも小罪人と禁  
獄と具拮拮とて  
三道具といふ  
○ 枷のくびりあり足械とも

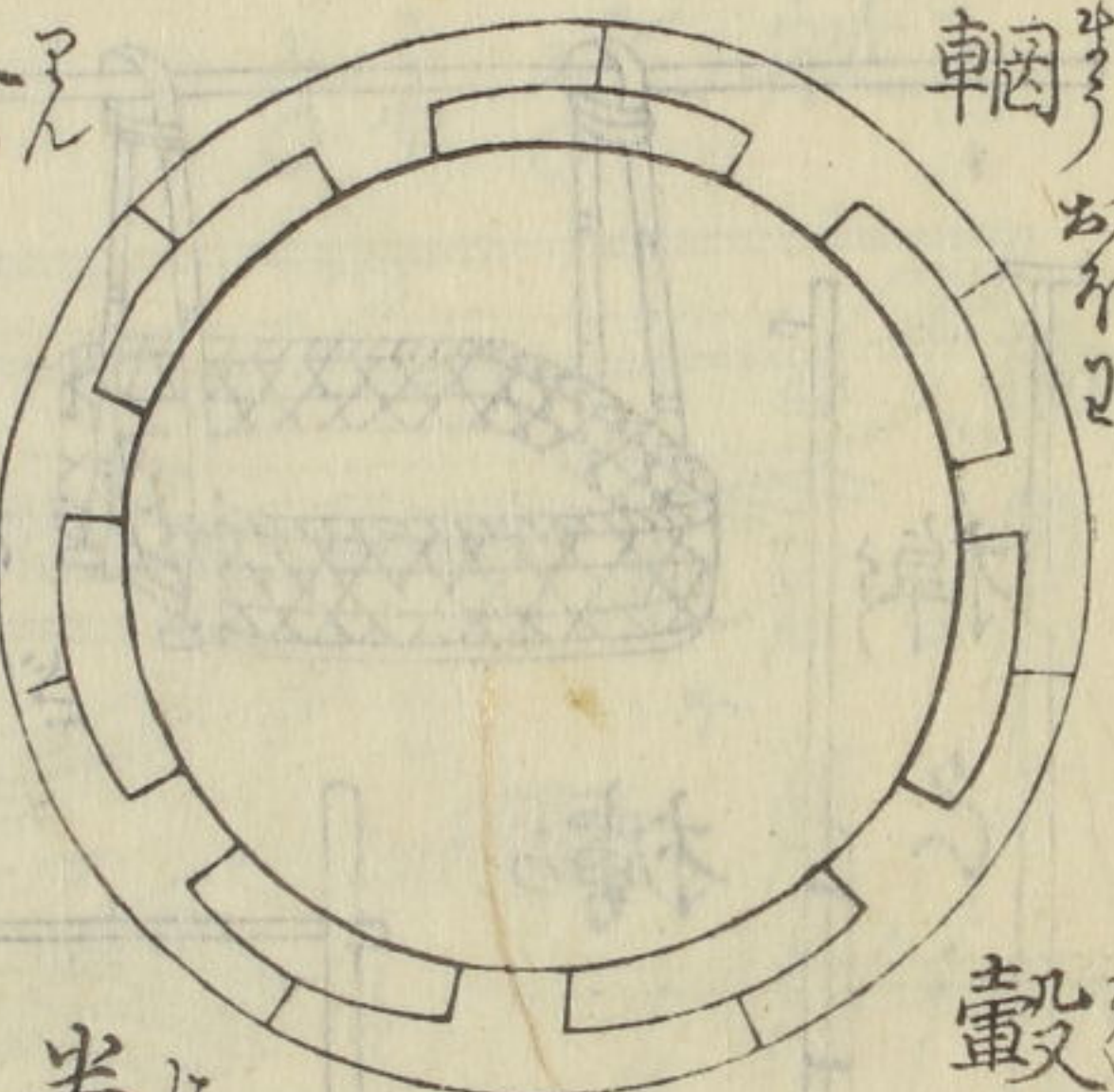
○ 櫛のむらあり手械と  
もいふ

○ 發音の西漢といふ州  
つりたてし南蛮より房  
西といふもの日本に献じ  
○ 管のちりともあり杖のつえ  
からし  
○ 棒棍も棒あり  
五五杖の今といふ切本棒也  
○ 飄石の今といふつんといふあり  
又磔砦とも書べし  
○ 鹿砦の櫛木あり地  
ろくへ人馬のあゆむとこは  
くびり軍の要害とて  
○ 碇の舟の鎮むる石あり  
ととり艇同いふあり

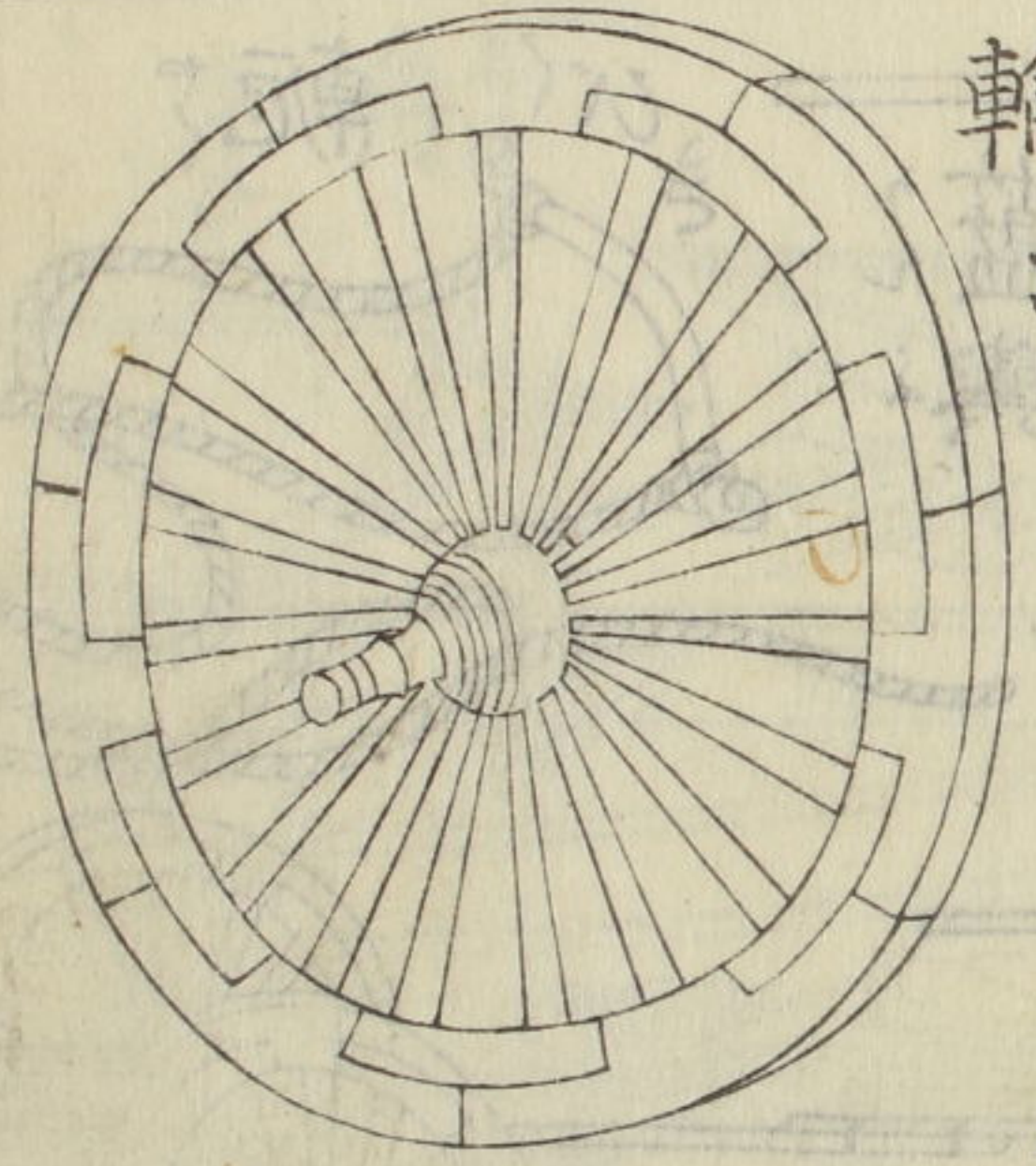
輿



輿  
かきこ



輿



頭言曾浦川

不言

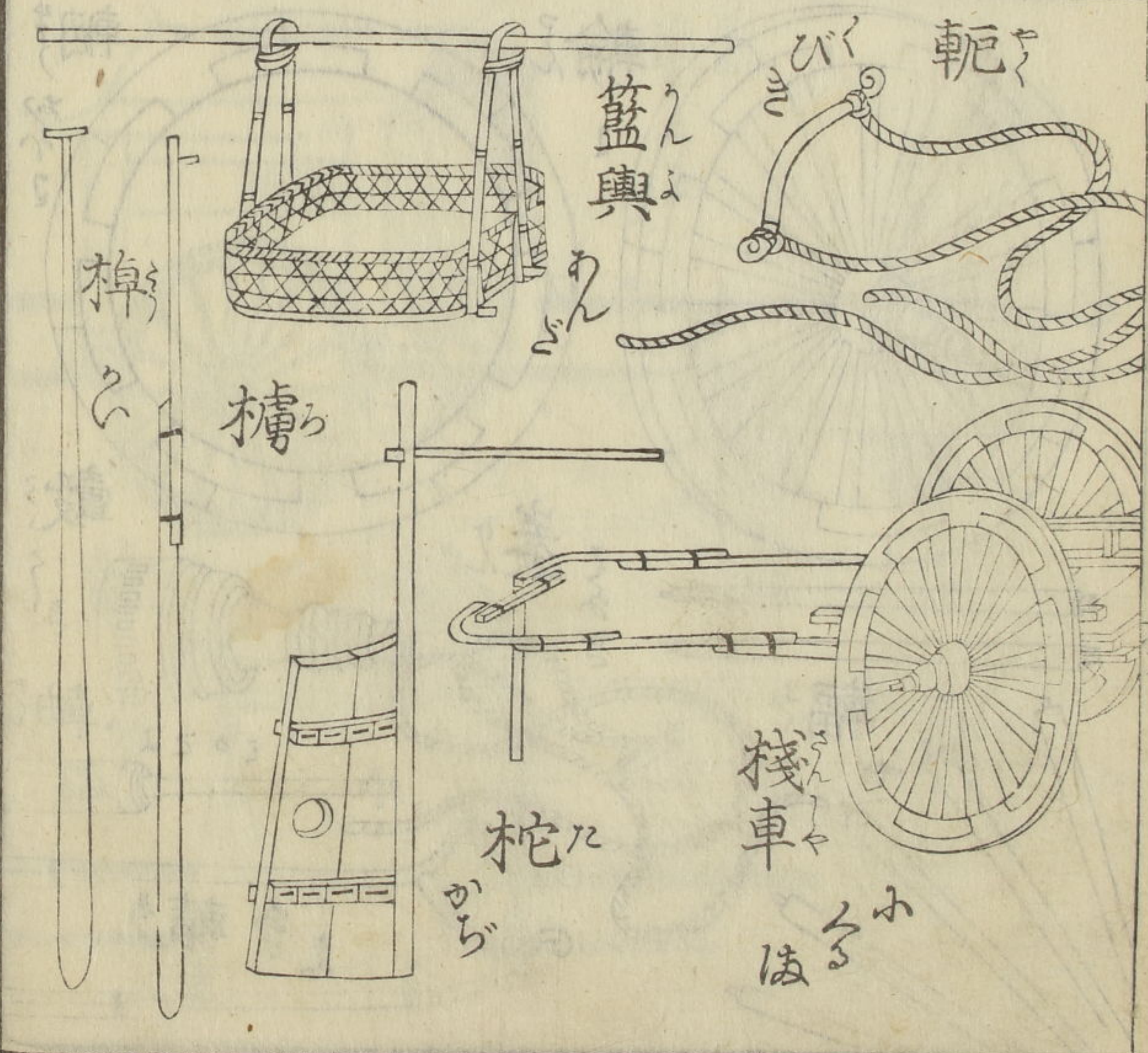
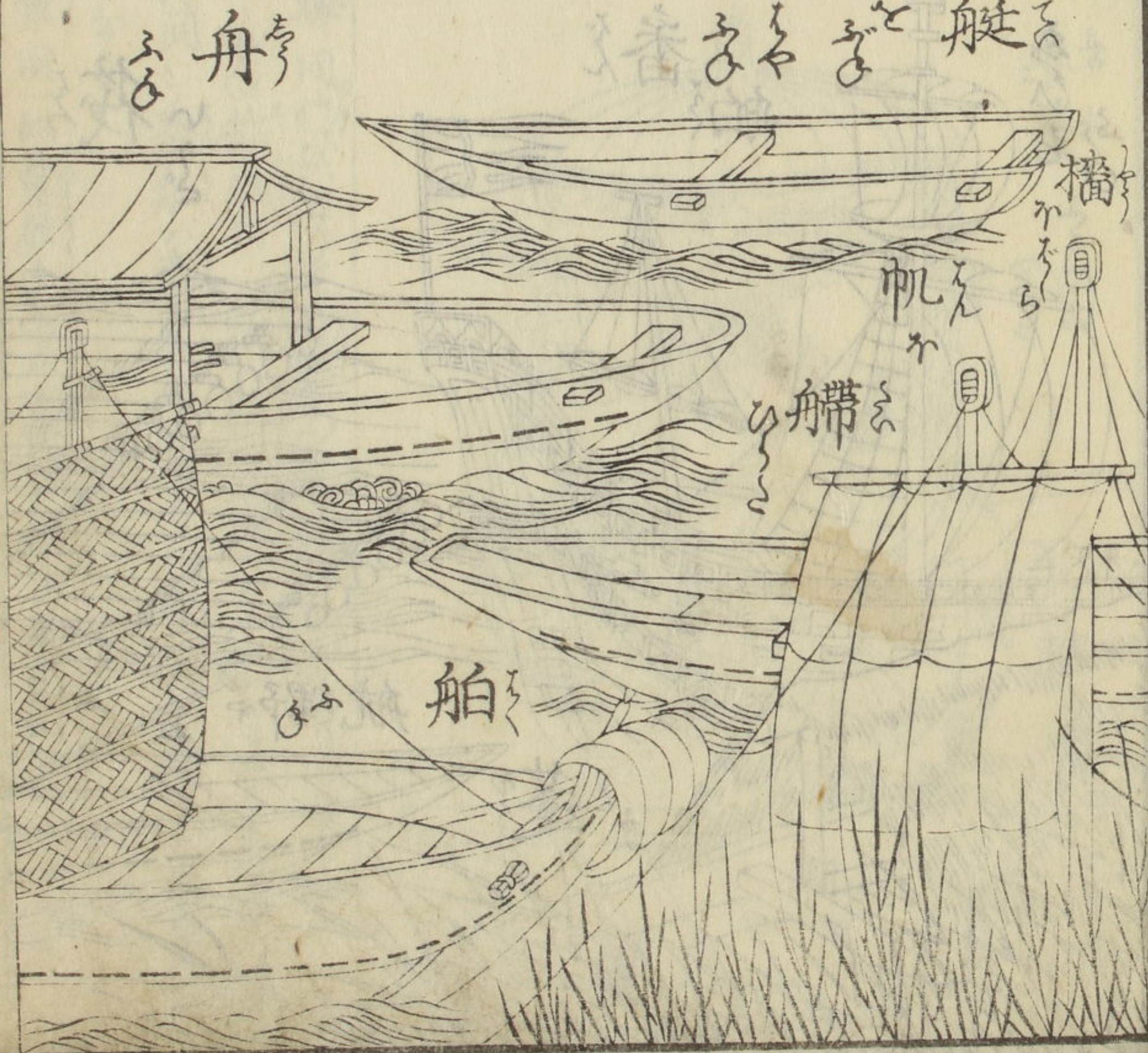
五



轡 級

○車に少昊の牛と駕  
 づし馬の馬と駕を今  
 圖する不日本五緒  
 車なり天子女御を氣  
 きふらるはあり  
 ○輦天子のけりあり御  
 輿多御輦も王輦と  
 もいふ又鳳輦ともいふ  
 ○輿いふ輿多肩のせ  
 かくと肩輿といふ作  
 わらういふ作輿といふ今  
 いふとあり  
 ○兜いふりからと兜橋  
 もも腰輿ともいふ和尚上人  
 國師禪師をいふ輿也

○輻の輪外の心  
 かり大輪より轆牙と云  
 ○輪車輪舌の聖人轉  
 蓬と見て車とつる  
 ○轂輻の漆木轂口の館  
 といふ釘といふ  
 ○軸車の輪ともいふ  
 かつと轆くといふあり  
 ○轆車の糸曲と云本と  
 いふ轆同  
 ○秦の牛の鼻とつる  
 りのあり奉養並同  
 ○輻轂小はく三十の本  
 ○輻年の頭ふらるあり  
 輻衡ありといふ同  
 ○棧車今いふ小あり



舟書船浦川長國書

舟書船浦川長國書







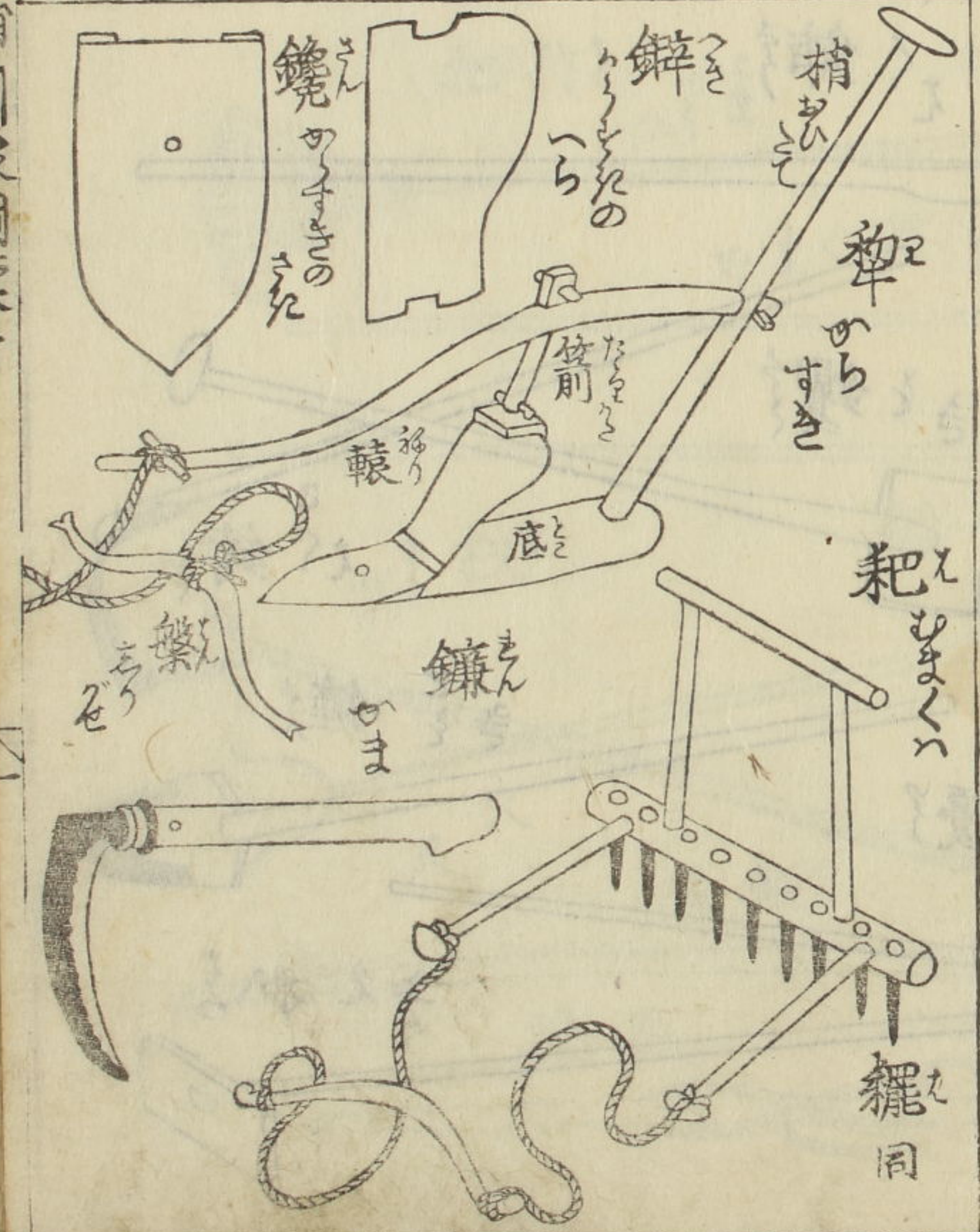


頭書増補訓蒙圖彙卷之十

器用

注前に見へたる

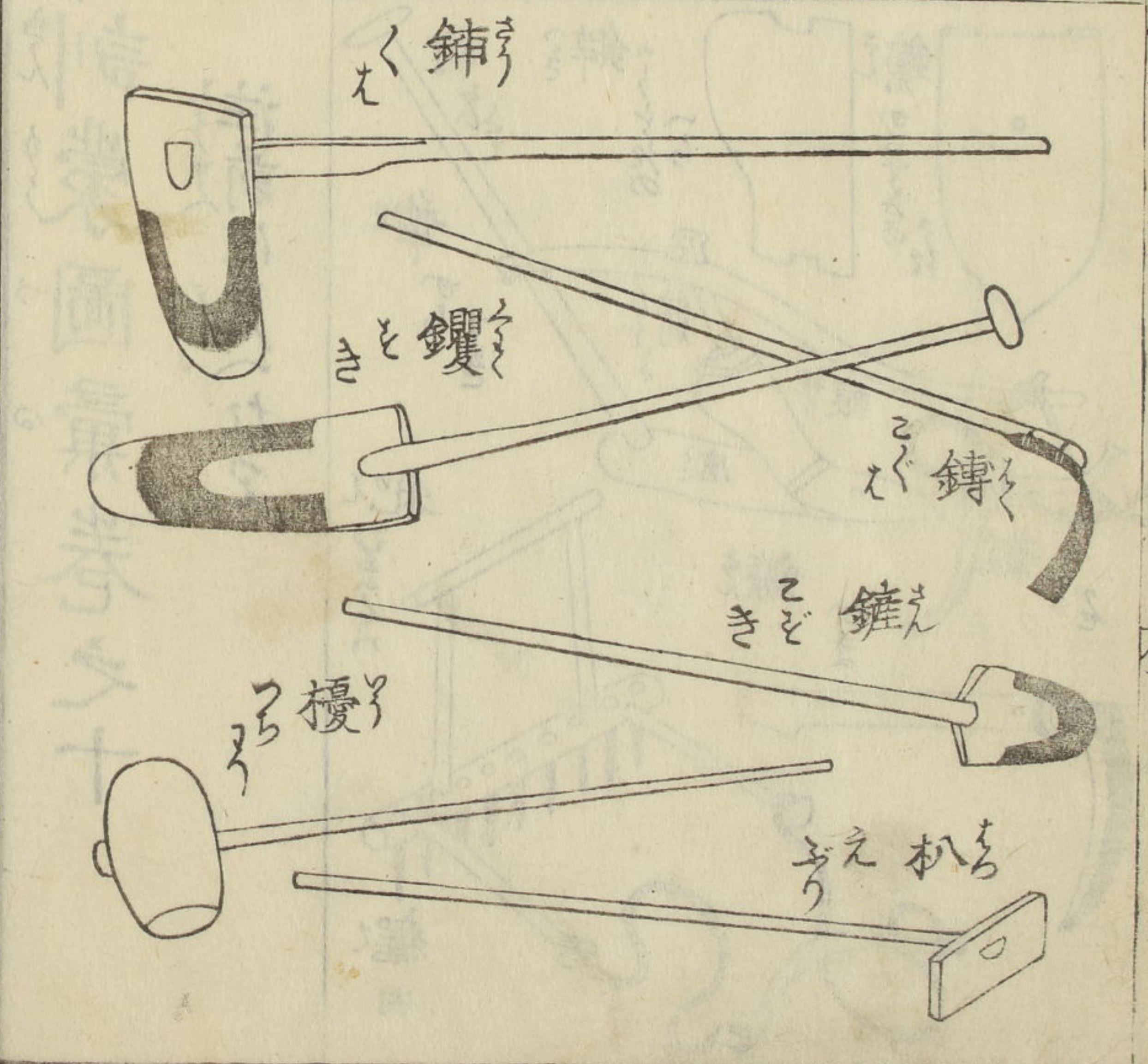
○犁のすき  
 ○轆のとうろひ俗小毛と  
 孫里とつゝ底のきり  
 俗ふるまふとつゝ  
 ○梢のひしとて前へつ  
 足つゝの櫛のちり  
 ○鏡の犁鐵のり  
 ○鋤の犁耳のり  
 ○耙のひまぐの繩同  
 秒紀かり馬把同



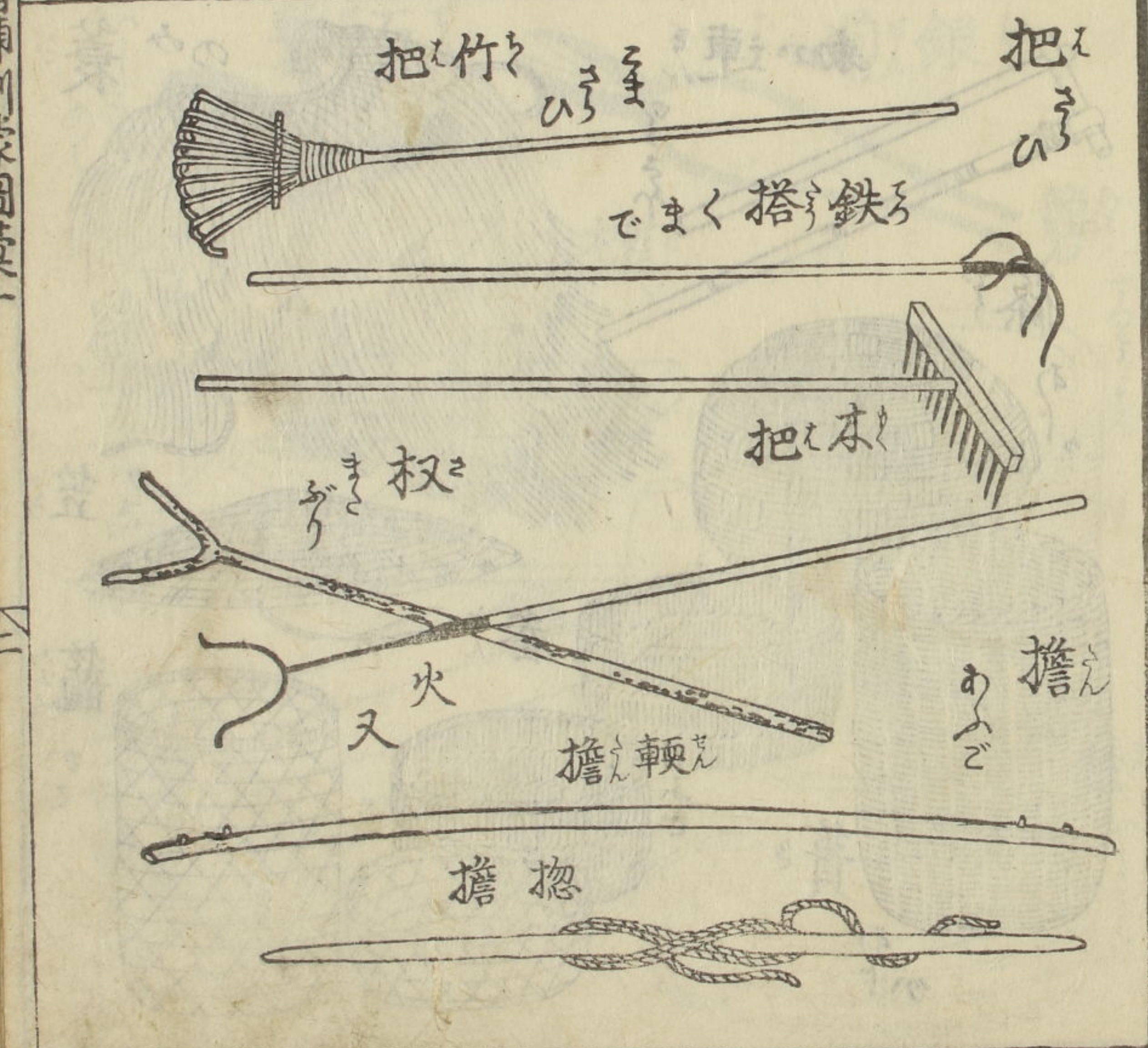
頭書増補訓蒙圖彙卷之十



○鎌のつかま 鉄のつかま  
 新月似磨鎌と杜甫  
 が詩ふもつるをさるり  
 ○鋪の鉄釜あり  
 南函 鉄釜あり  
 〆同ト  
 ○鑿の大鉏あり  
 農具の黄帝ありと  
 洗くろ 洗て民ふあり  
 て田地とくろありあり  
 錯鑿ありあり  
 ○鑄のこくろあり

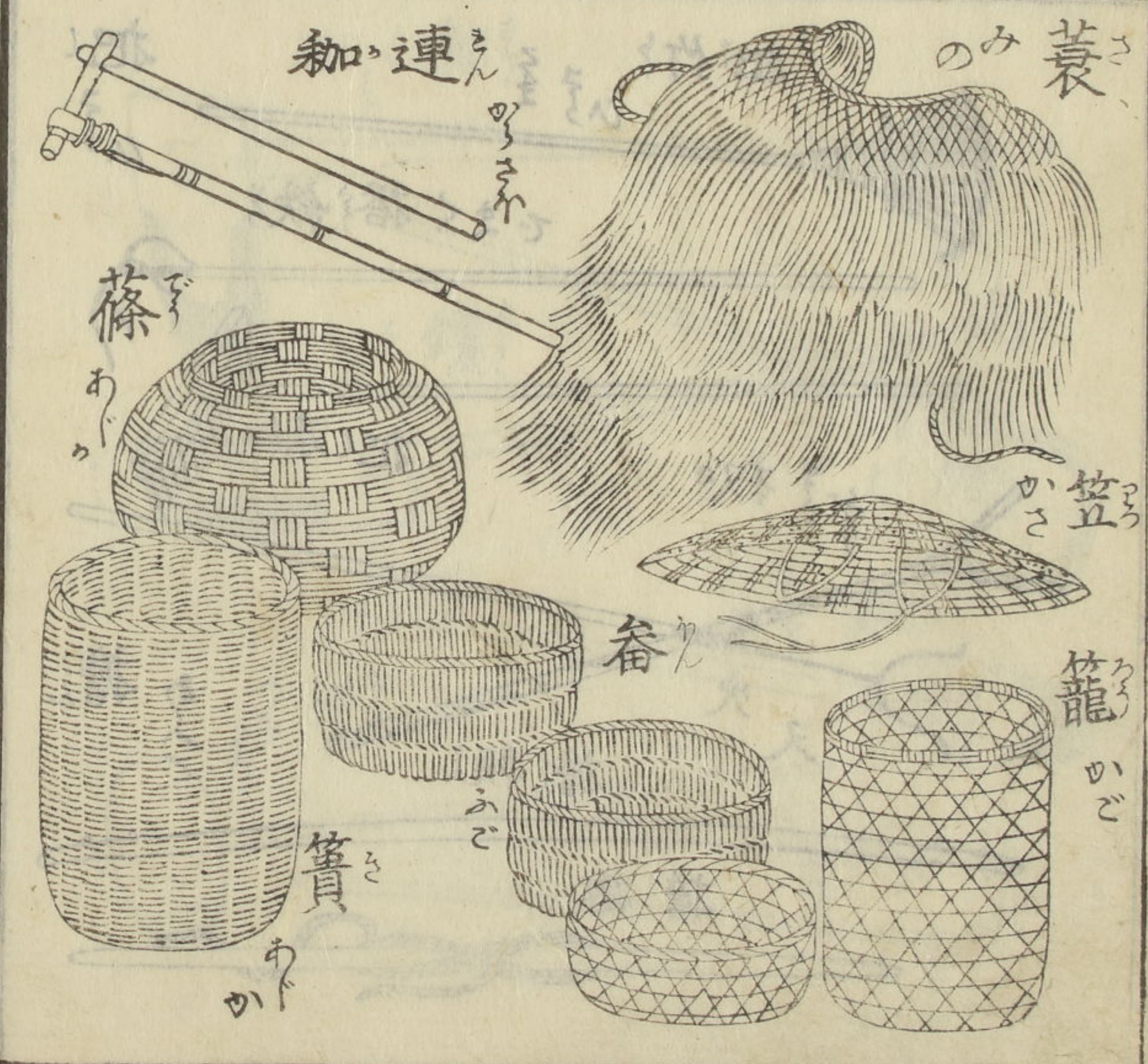


こまのせまは田他の草  
 とくろの具なり  
 ○鑿のやとくろあり  
 杓とこくろありあり  
 鑿のたぐひあり  
 ○擾のつらありあり  
 擾幅 擾ありあり  
 ○擾の塊とくろありあり  
 田を摩器ありあり  
 ○把の田具ありあり  
 ありありありありあり  
 ひかりを本にてつる

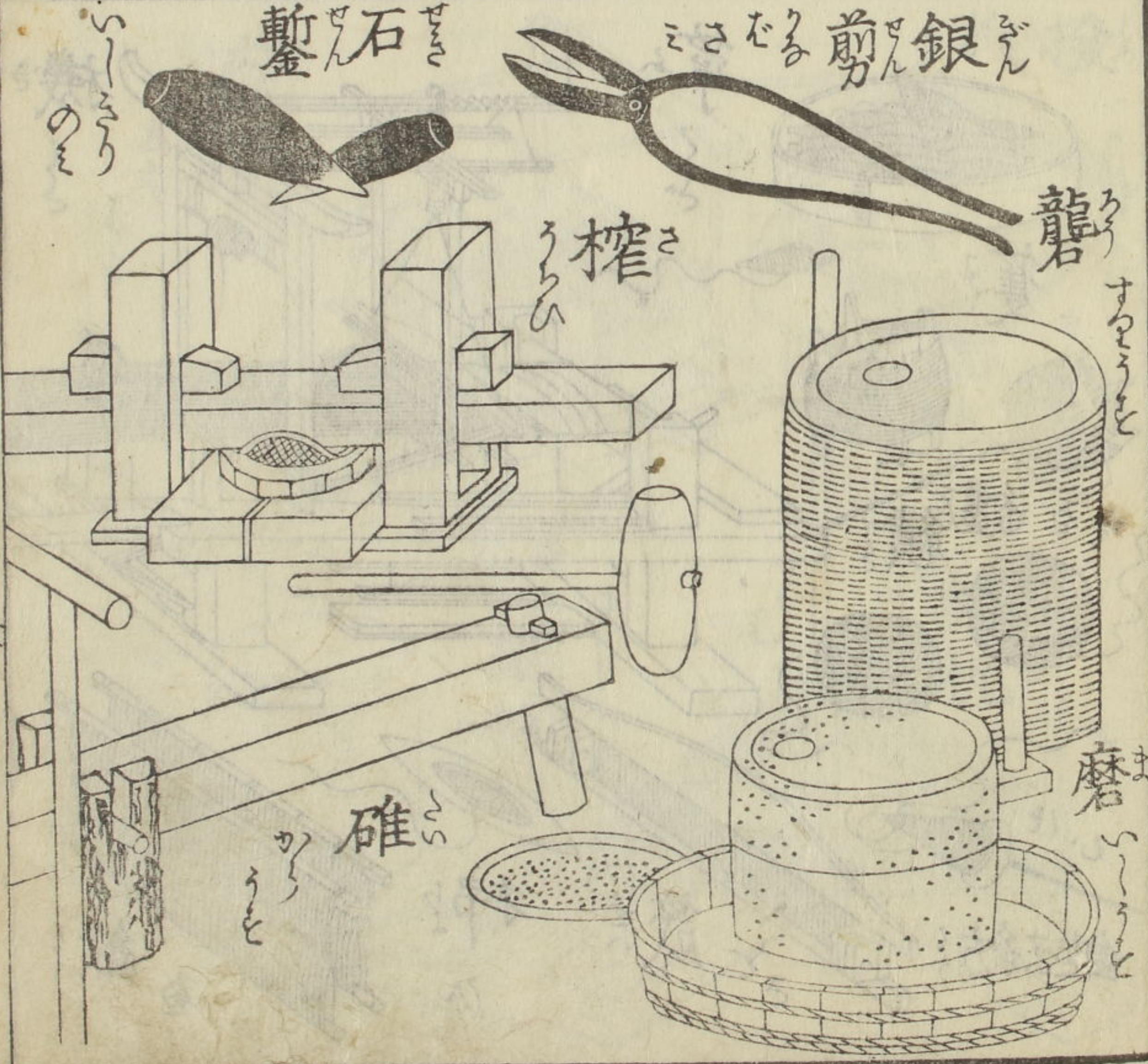




○鉄塔の塔はくもものこと  
 もくし俗よく名でといふ  
 ○竹把はこはきいといふ本  
 葉はくものあり竹を把  
 ○木の樹同えよりありおん  
 把は歯多きものあり土は  
 うたよきものあり  
 ○檐はあまの背と肩と  
 つの荷と檐といふ檐杖輓  
 檐はあまのこゝろにたひ  
 わりあり  
 ○枝の本多きまきまき  
 ○蓑の雨衣より田夫の服也  
 みのあり  
 ○笠は箬笠より天のつ  
 ちの笠のよりよして敗笠



○破天公といふ  
 ○籠の土とわが器より竹  
 ぼくはく  
 ○畚の土とわが器より藁  
 ちくはく  
 ○蓆の草と去りつりのあり  
 まつあてはく  
 ○箕の土とわが器より  
 竹あてはく  
 ○連鞠の麦粟かへんから  
 て穂とくく具あり  
 ○籠のいりこころとわが器より  
 わたしの本やくつさる籠  
 礪（うす）まづび小同一  
 ○磨のみぐともまきとを  
 よいよとをみきて精を

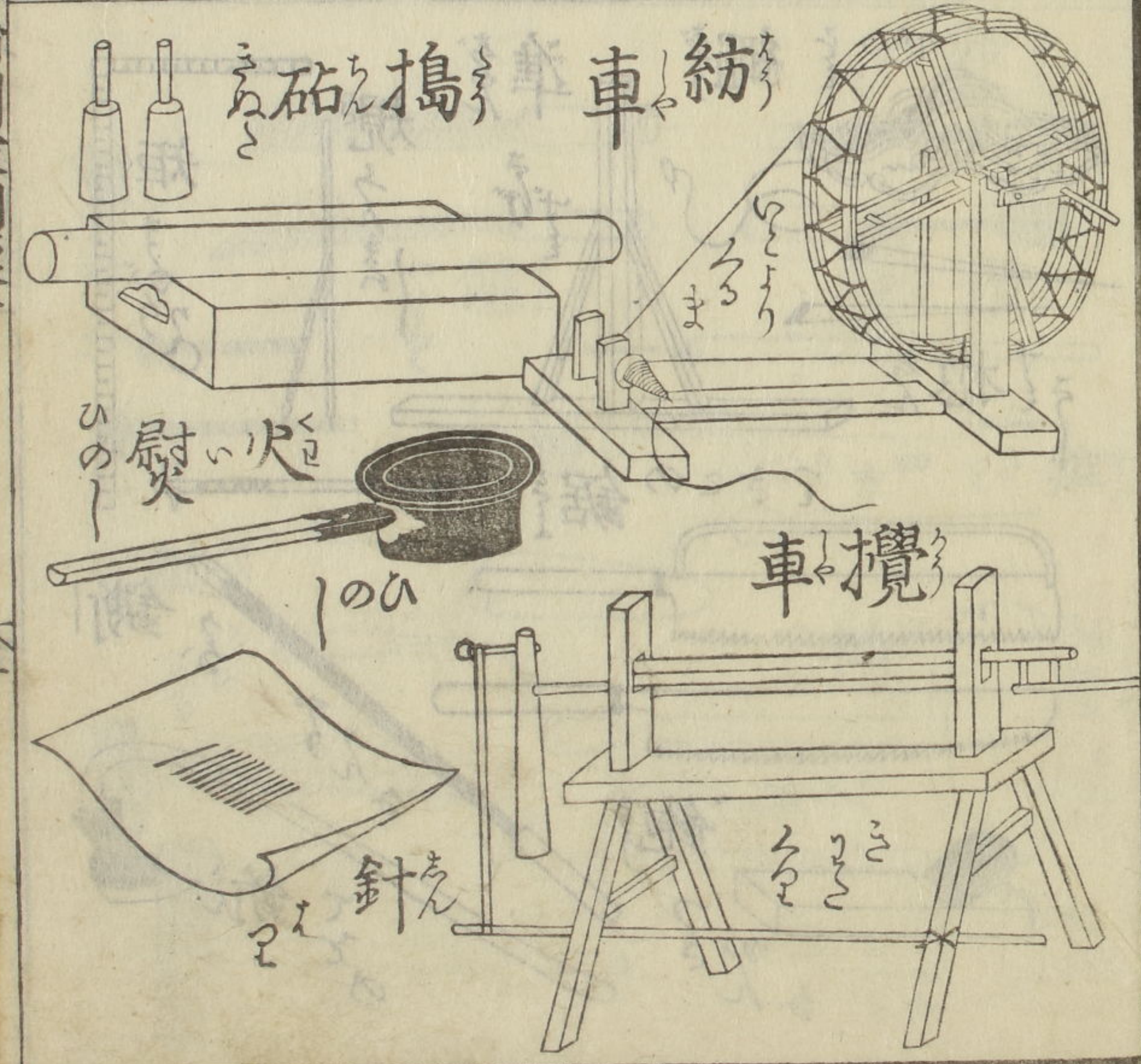




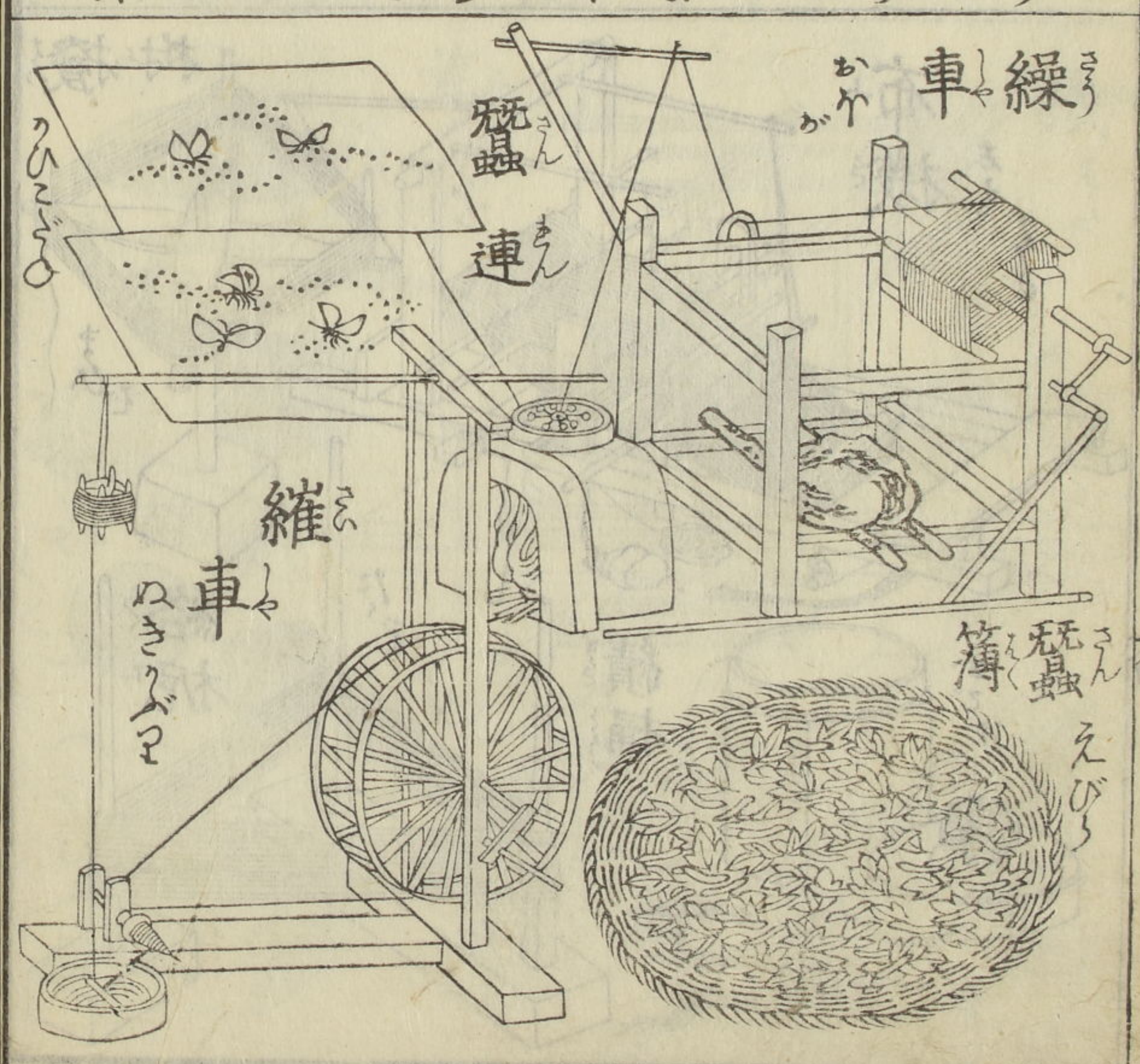




○繅車さくまの糸いとはま子こつつる  
 具ぐ多たり緯車いりま同  
 ○紡車イトリの糸いとはま子こつつるはま也  
 綿筒ワタと俗よ小このめといふ  
 ○攪車カキ木綿キヌとりり  
 核クと攪カとり車まなり  
 ○搗砧ウシのきりの巻まきとりつと  
 のい即す杵きねなりのつらなり  
 ○火ヒ尉い火いとりつとちを  
 を尉い多たりの鉗くわ鉗くわか  
 らび小こ同い  
 ○針ハリ物もののを病やまと治す  
 と同お通と下げ用もちの醫者しや鍼しん  
 としつと病と治とりつと人  
 をいすしと箴としつと視  
 箴しん聽しん箴しんのおり



ともいふ  
 ○絡くわ机ぎの糸とりつと重なり  
 絡くわ塔たとも書かり  
 ○布ヌ機ぎの布とりつと重なり  
 機ぎ小ことりつと重なり  
 この下したとりつと重なり  
 ○績シ桶づのおけりなりのま  
 まのておけりなりの茶ちや釜かまは  
 ちやまかとりつと重なり  
 ○繰ク車まの蚕とりつと重なり  
 具ぐ多たりの繰車クマ同い又また繰車クマと  
 も書かり  
 ○登ト連れんの蚕種しゆ紙かみなりの  
 このとりつと重なり  
 ○登ト薄はくの蚕とりつと重なり  
 具ぐ多たりの笛ふエ同いとりつと重なり



良言抄  
 卷之四  
 織物  
 四



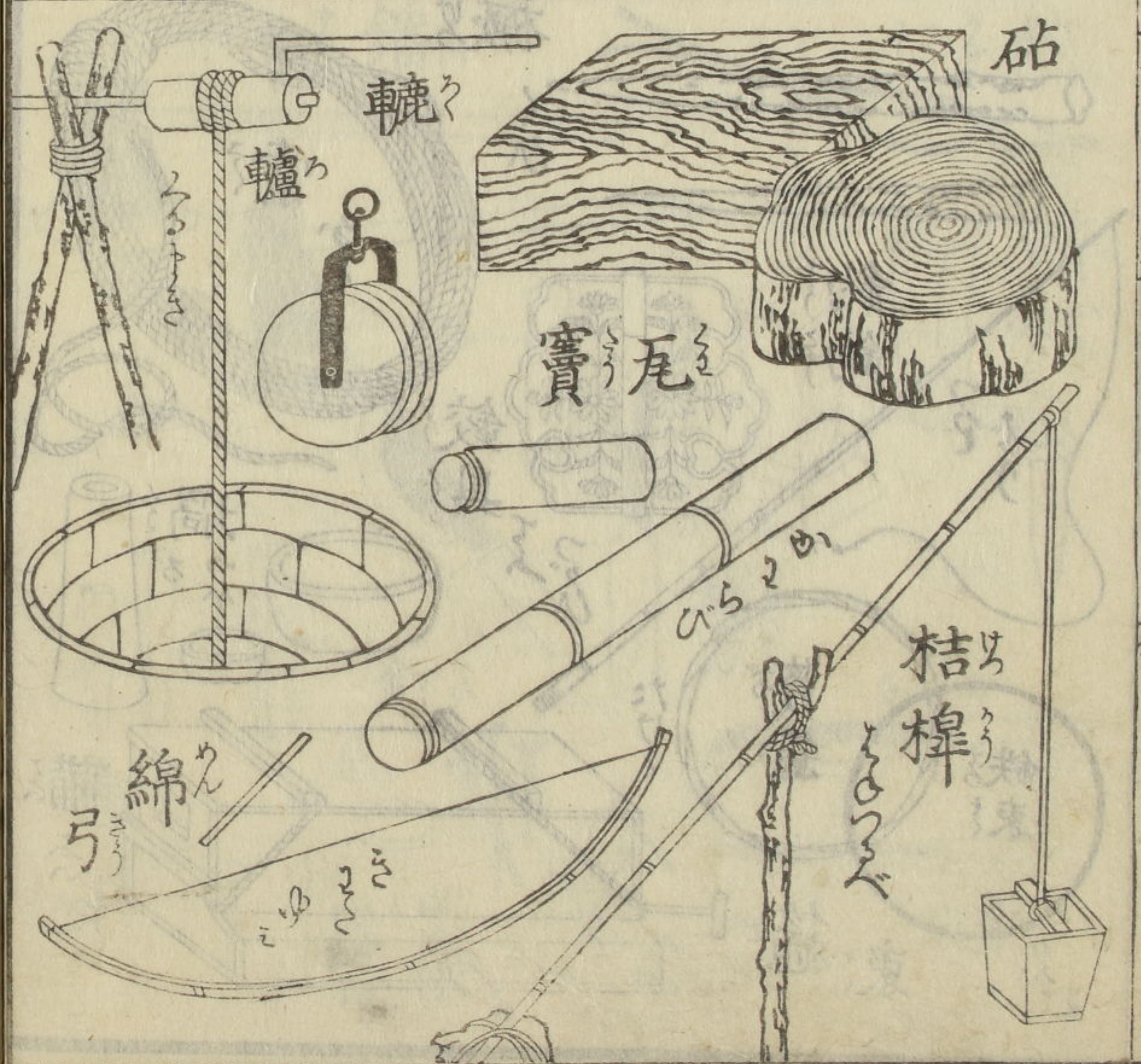




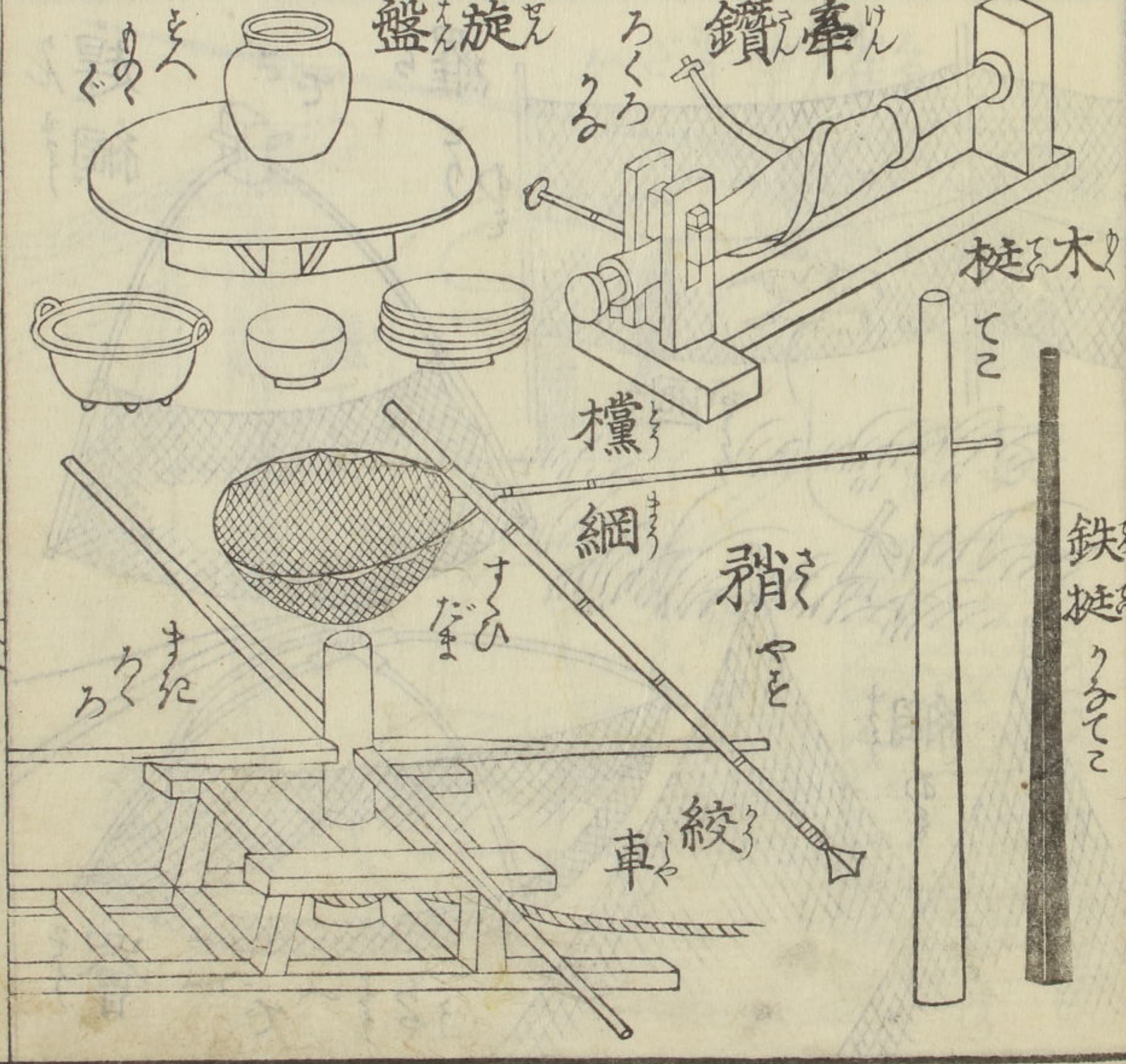




○鉄束のふりこり鉄箱同  
 ○竹束の桶の輪多行よ  
 てつる竹篾ともいふ  
 ○砧をてかり拵礎同た  
 に衣とろ具多きゆと  
 こいふ  
 ○桔槔こもつと多擦  
 槲同  
 ○轆轤水とらひつるふか  
 る具多しはきといふ獨  
 ぶくに轆轤といふ物わ  
 (瓦竇か)てつるこ  
 多し陰溝むねを又暗溝  
 と書かる  
 ○拵のふりこり  
 多し唐ゆと小ろわり

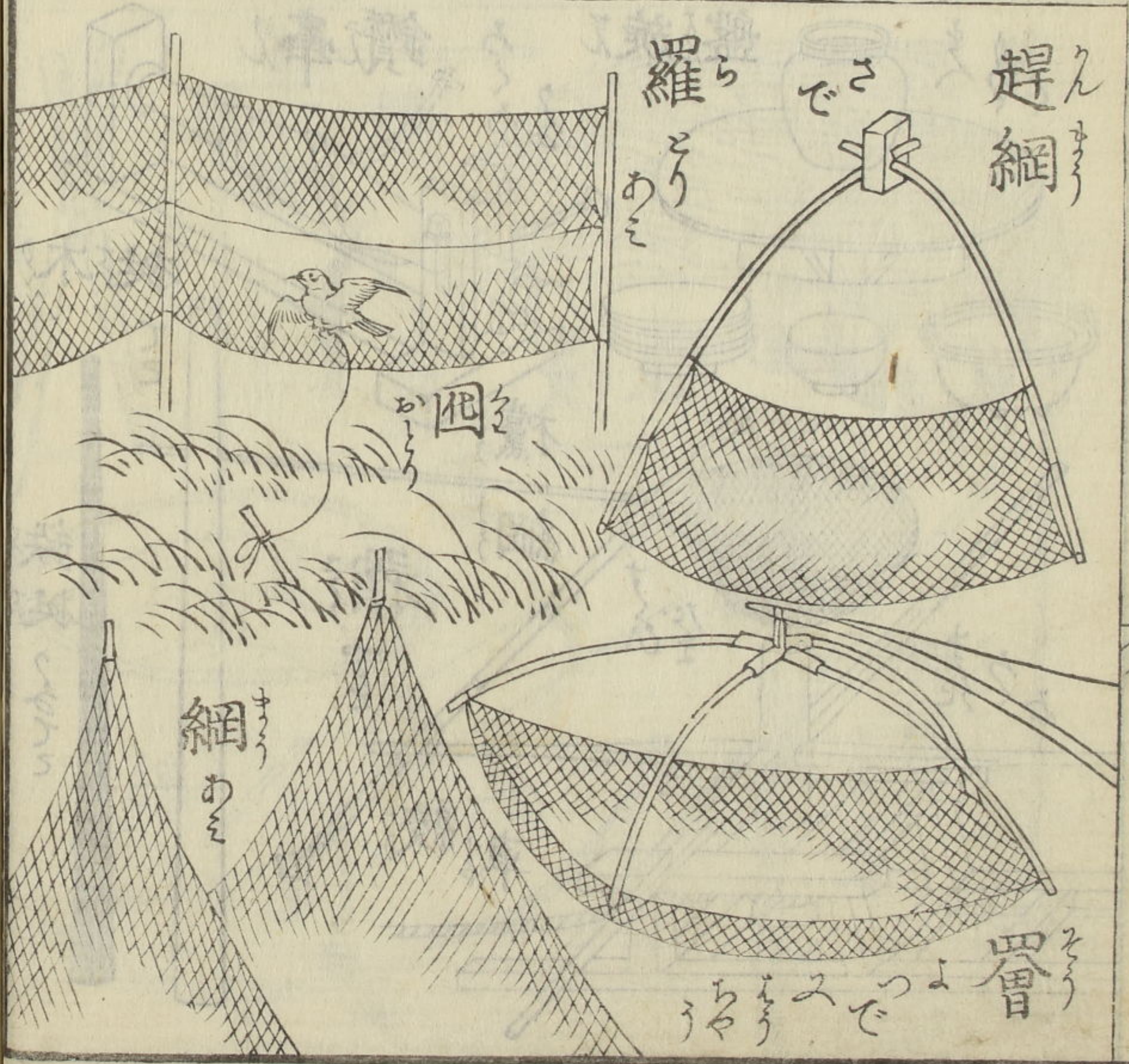


○牽鑽ろろろ錫又角  
 なとといひわあり車鑽同  
 ○旋盤の茶碗天目とつる  
 るはあり釣釣ありび同  
 すのつろのろろ  
 ○本挺てこかり鉄挺  
 てこ  
 ○攪網の俗小といふはと  
 りありわがま川の小魚と  
 とろありありたまごと  
 もいふ  
 ○硝の鯨鯨かといふ物  
 かをりぬこいはく馬よ  
 とろわが瓜硝といふ篋同  
 一名魚又といふ  
 ○絞車はまたろろ大石の

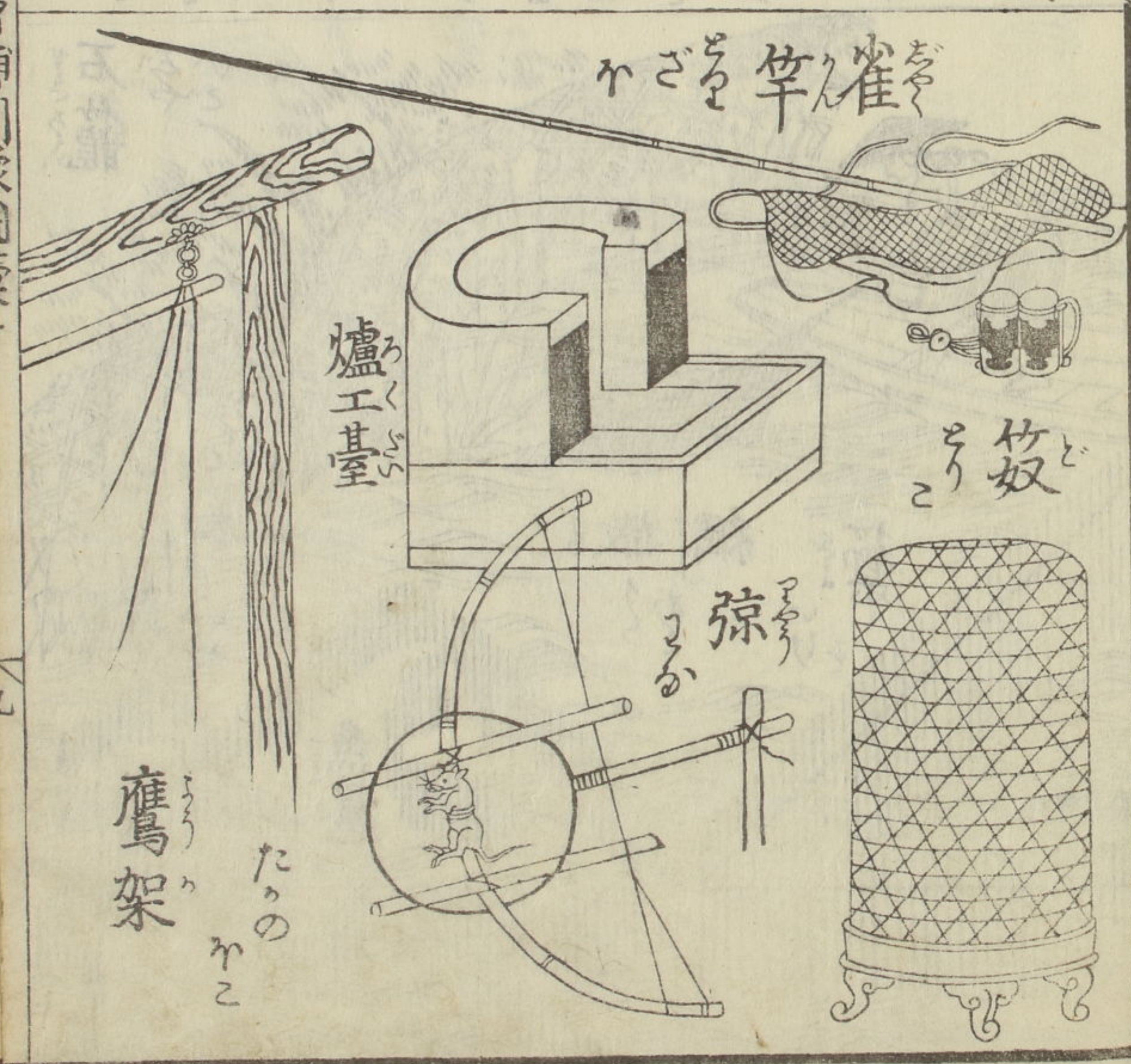




家藏堂やぐらひくろく  
 〇趕網かきまき細ことも小魚こいしと  
 とも具ぐあり俗ぞうふたひとも  
 〇罾あらいいりともともあり又  
 方張かたぢとつひいりひのあり  
 穀品こくひんあり此圖ここの四よでとも  
 ありあり  
 〇網あみのありあり庖犧あさき氏の  
 つりともあり罾あらい同  
 俗ぞうふともありありあり  
 ありあり  
 〇羅らのありありあり  
 ちりあり羅らとつり鳥罾とりあらい  
 絹糸ぬい又麻糸あさはくはく也  
 ありありありありあり



〇圃うらのありありありあり  
 いで外うへのありありありあり  
 らありあり圃うらとありあり  
 圃うら煤すす鳥とり同  
 〇雀すずめ竿かんの檟しん竿かん同  
 ありありありありあり  
 ありあり  
 〇炊いのありありありあり  
 丸まる籠かごのありあり  
 〇爐ろ工く臺たいの金かね盆ぼんのありあり  
 ありありありありあり  
 〇鷹たか架かの鷹たかのありあり  
 ありあり  
 〇涼すずかの罾あらいともありありあり  
 狐きつねのありありありありあり







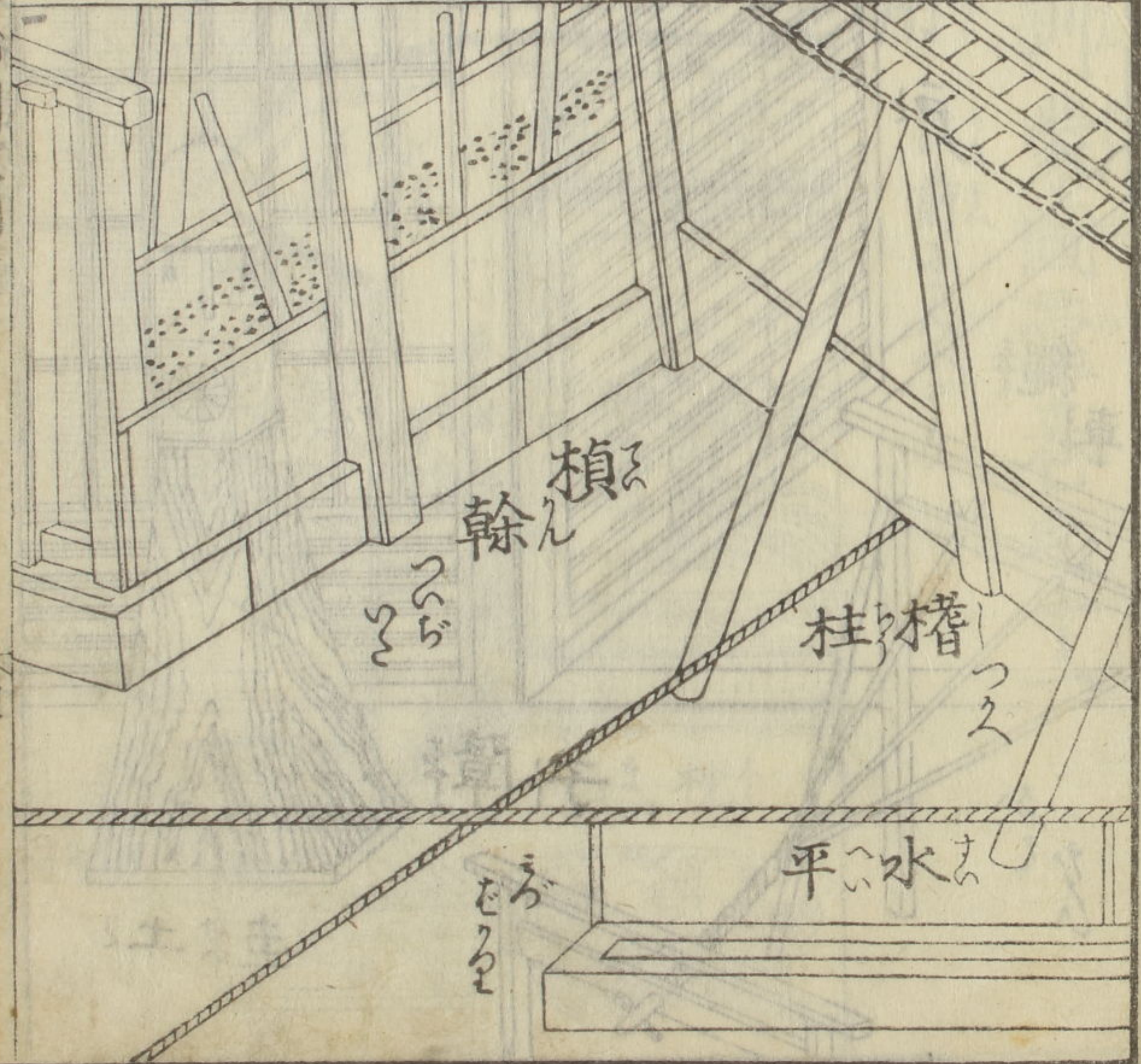


三言三語 雑言雑語 雑言雑語

○岸斗の桶はあまふつけ  
て田の水をふるものあり  
もいでるのときたりもの具  
あり岸桶同  
○魚梁海中に竹の篋  
をへて魚をとるものあり  
留同俗よまふものあり  
かたは笥同  
○塘細引のこしらへ大海  
て魚をとるものあり方重  
にうけの桶をつけて大せ  
の人力をとるものあり  
○樁柱家のゆがむものあり  
かをとつものあり竿は今  
ひまひあり  
○損榦の両題を損とひ

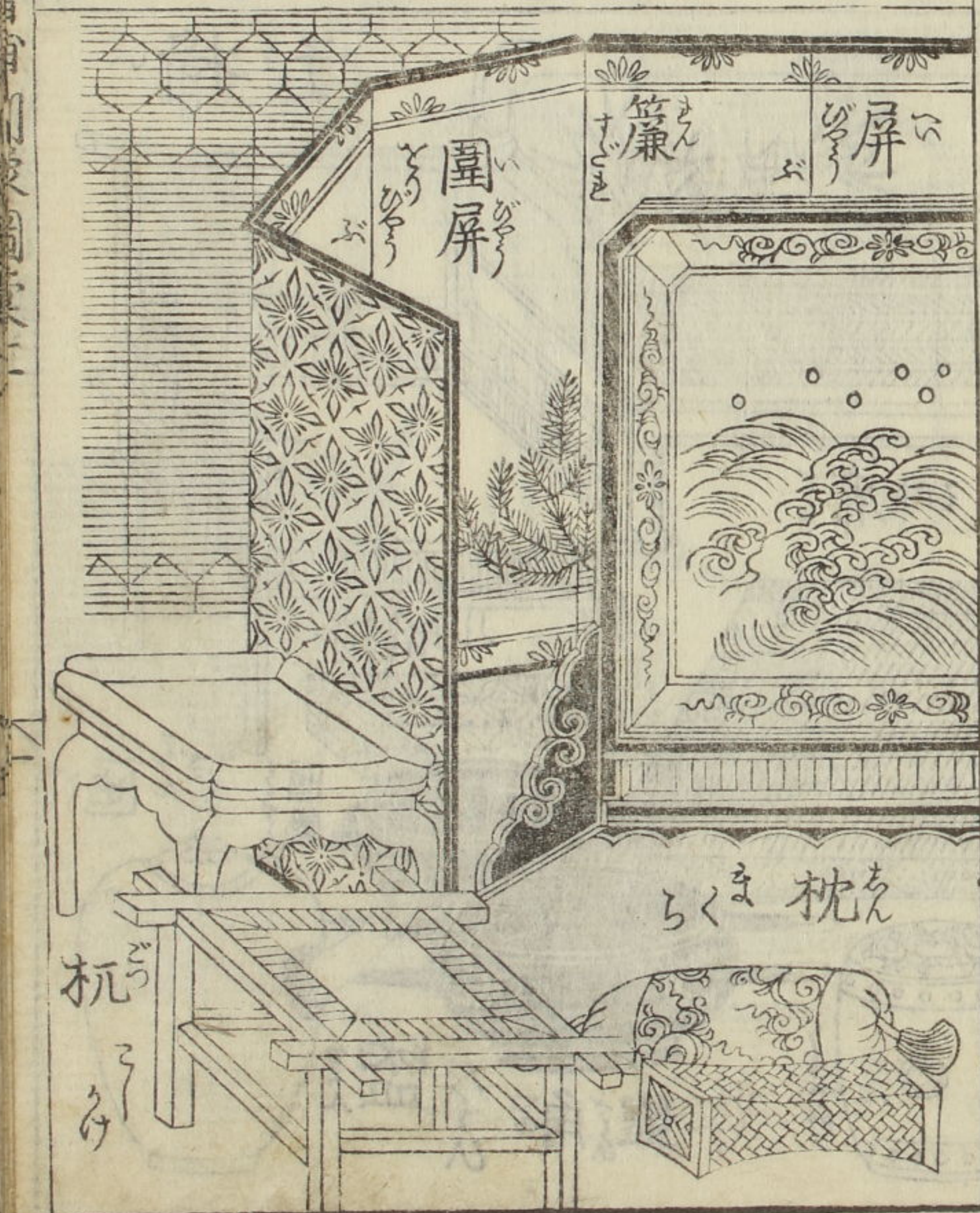


○水平のふたをとりあり  
あかりのふたをとりあり  
さうさりのふたをとりあり  
りらるる具方を度準  
同ト  
○土圭の圖景とも時計  
書あり昼夜十二時以  
んかふものあり  
あかりのふたをとりあり  
計ふ大あり  
○障子の障の字を  
あかりのふたをとりあり  
あかりのふたをとりあり  
あかりのふたをとりあり  
あかりのふたをとりあり



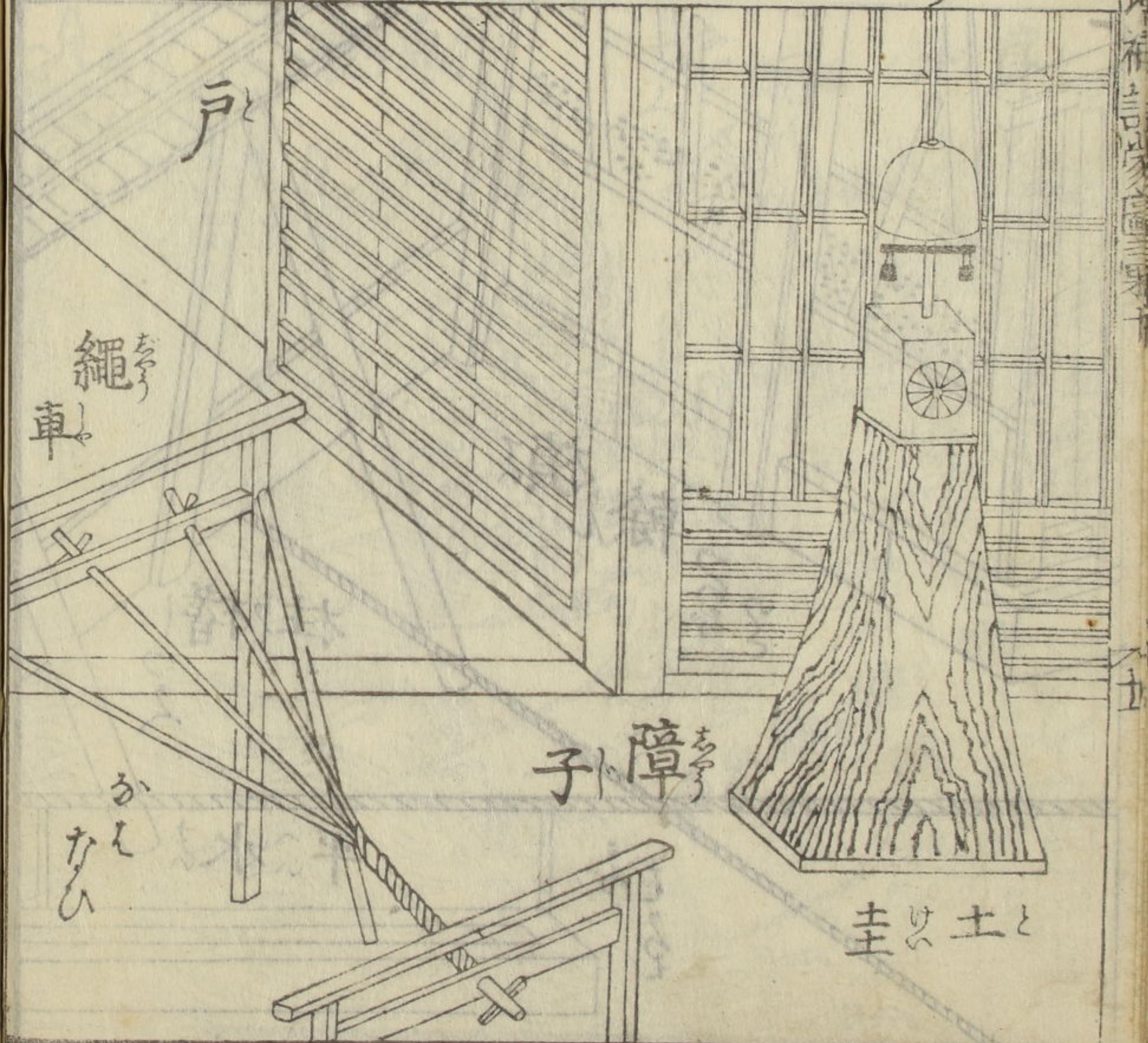


○戸のゆるぬ戸を戸  
 戸妻戸あり板戸あり  
 戸ありその名多々あり  
 戸ありありありありあり  
 ○繩車はろく繩幕の  
 繩かといゆる車あり  
 ○屏風は屏風方と畫屏  
 繡屏金屏石屏硯屏  
 格子屏あり又圍屏と云  
 ○簾はこれ箔同翠  
 簾みとあり簾鈎はつ  
 なるあり  
 ○枕は珊瑚の枕瑪瑙乃  
 枕なるは貉枕あり  
 もあり  
 ○杓子はろくけあり  
 ○椅子は方椅子あり圓椅  
 あり交椅子あり踏あり



頭書増補訓蒙圖彙卷之十一  
 器用  
 註前ふるあり

○戸のゆるぬ戸を戸  
 戸妻戸あり板戸あり  
 戸ありその名多々あり  
 戸ありありありありあり  
 ○繩車はろく繩幕の  
 繩かといゆる車あり  
 ○屏風は屏風方と畫屏  
 繡屏金屏石屏硯屏  
 格子屏あり又圍屏と云  
 ○簾はこれ箔同翠  
 簾みとあり簾鈎はつ  
 なるあり  
 ○枕は珊瑚の枕瑪瑙乃  
 枕なるは貉枕あり  
 もあり  
 ○杓子はろくけあり  
 ○椅子は方椅子あり圓椅  
 あり交椅子あり踏あり









とんぐー批のやそぐー捕  
 梳のさーぐーかり  
 ○髪へ髷と同ろぐーか  
 髷髷會しゆひ  
 ○壺へ酒とろぐーつへお  
 又陶ともふ  
 ○樽へ酒瓜とろぐーつへお  
 かる本樽わり漆樽わり  
 瓦樽わり陶樽わり楹同  
 ○瓶へ酒瓜とろぐーつへお  
 水瓶酒瓶  
 尿管わり餅同  
 ○注子へ酒とろぐー湯盥湯  
 釜小湯のわつとろぐー水と  
 うめら具あり  
 ○櫛へ酒瓜とろぐーつへお  
 雲雷のわつとろぐーつへお



て櫛とろふ  
 ○盃へ酒とろぐーつへお  
 醜とも書へ又鸚鵡盃  
 椰子盃瑪瑙盃をいふ  
 ○琖へ酒とろぐーつへお  
 ○厄へ酒とろぐーつへお  
 つり醜同  
 ○爵へ酒とろぐーつへお  
 淫乱なるのあり酒と  
 のり淫乱なるのあり  
 さろぐーつへお  
 ていさろぐーつへお  
 と爵とろぐーつへお  
 炉のろぐーつへお  
 ○鼎へ酒とろぐーつへお





〇鼎のわのゆふあり五  
 味と煮和とさうつりの  
 かつ方鼎ありゆ鼎あり  
 〇甌の物瓜じとさうき  
 既同筆のこきすれ  
 炊巾のさぬのあり  
 〇鍋大のまどと鑊と  
 わさたまどと鑊と  
 鍋のつら  
 〇金のまどと鑊鑊を  
 らびふ同ト瓦金のはら  
 がはあり  
 〇筋箸箸のびよ食  
 竹筋のさうあり  
 火筋の火さ



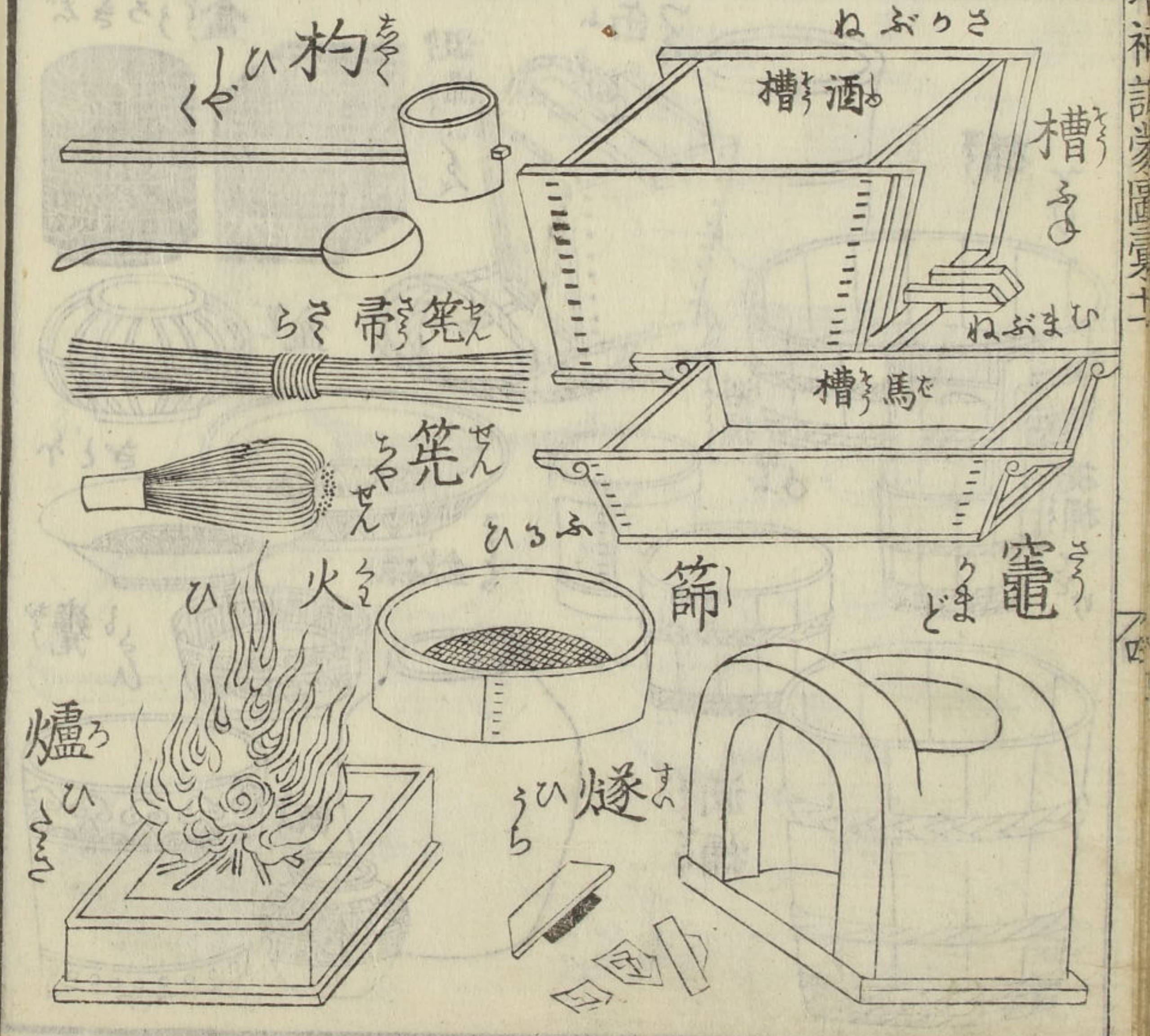
〇碗の食碗茶碗あり木  
 椀磁椀あり大まどと  
 の深と甌とさうき  
 同建盞あり  
 〇碟の玉と磁碟との末  
 の玉と漆椀とつり碟と  
 又木さう椀子  
 〇香匙の香とさう  
 〇飯匙の律僧禪家に  
 用さうのあり飯とさう  
 ひくふあり  
 〇茶匙の茶抄あり  
 〇藥匙の医家小用あり  
 茶匙あり  
 〇飯申のさうのありと  
 撥同



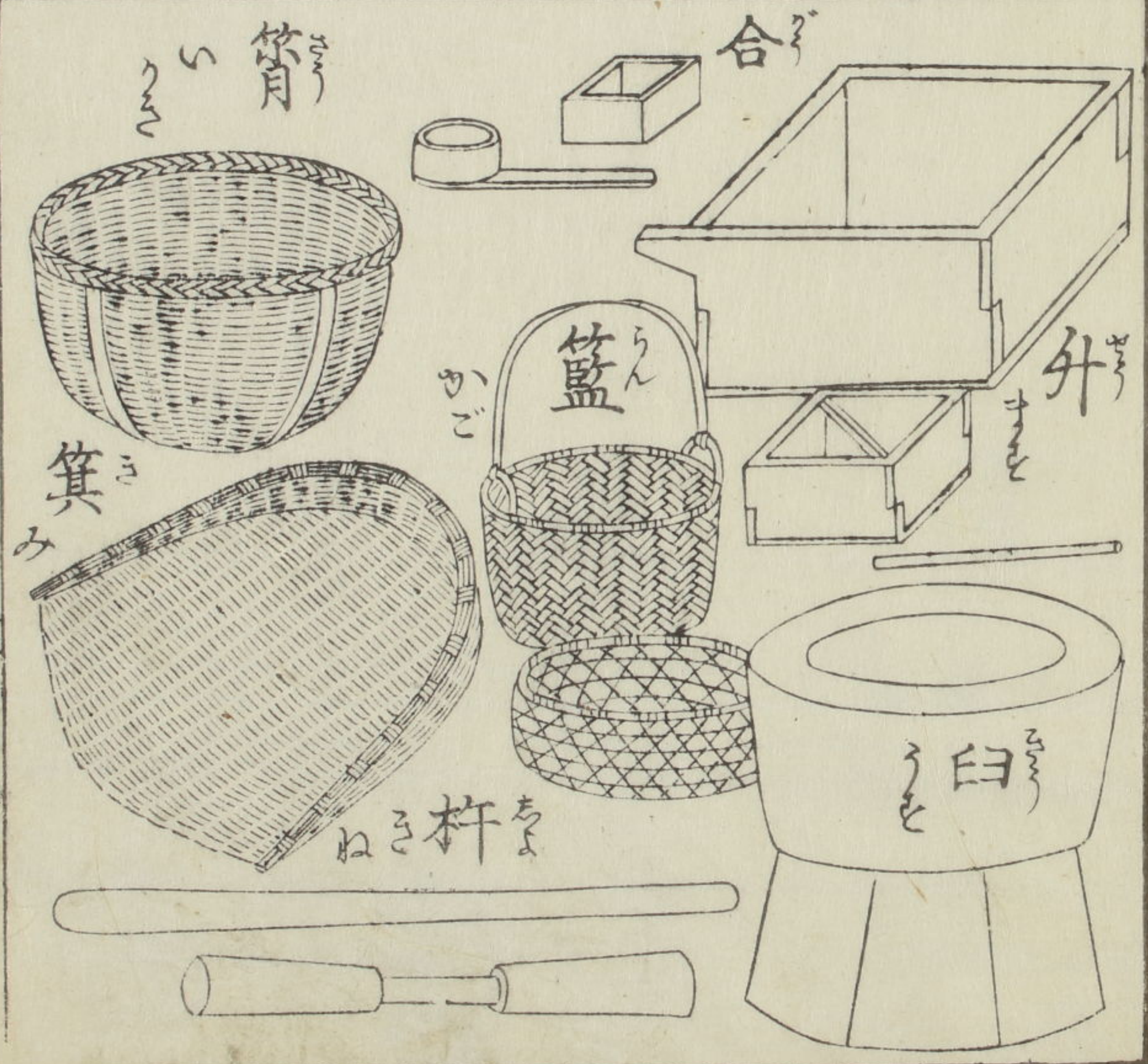
類書 西川 大 圖 解



○盤のてて物の臺より  
 圓のてて物盤といふもの  
 とも方々のてて物通といふ  
 盤といふ事もあり  
 ○臺盤の今いふ三方あり  
 ○托の茶碗天目の臺也托子  
 托盤並同又素いつる  
 ○鉢の佛氏の盃かり鉄  
 鉢わり銅鉢わり木鉢わり  
 佛のりらめへ鉄鉢わり  
 ○蓋盤のさうぎの臺あり  
 ○盒の合子あり今いふ食籠  
 あり圓器あり今いふ  
 もとりのなり  
 ○盆のすらりつりの名  
 盆同磁盆のさうらあり



○甕のてて物鑿籠鑿鑿  
 共小同大をてて物といふもの  
 瓶といふもの酒を入るものあり  
 ○桶のけり提桶といふもの  
 浴桶のゆづり打同  
 ○酒桶の五石入十石入のもの  
 口をきじててて物  
 ○缶のつるがらとて物  
 水といふものを縛つもの  
 緋汲索といふ小同  
 ○汲桶の本水て物  
 ○酒槽のさうぎの今いふ槽  
 酒袋と入るもの桶といふもの  
 ○馬槽のひしひしあり馬の  
 四足ともさうぎの槽  
 ひまたりあり

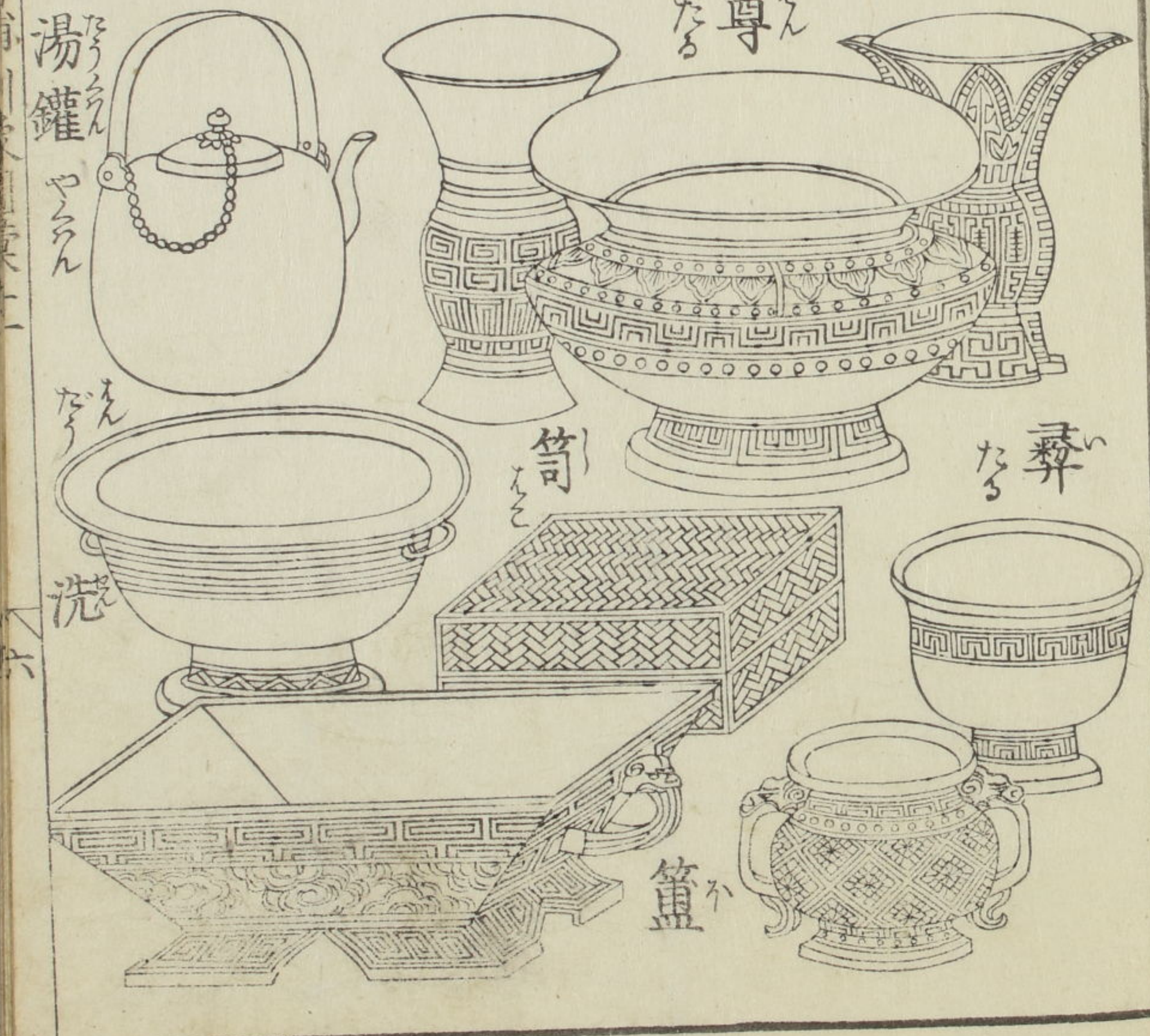




○持の水とくむのの瓢  
 びふ同俗ふひやくと  
 ○笈の茶と泡とろりのの  
 悪茶と茶笈にてろり  
 と蟹眼といふ  
 ○竈のいまとあり灶同行  
 竈のくもろり灶同  
 ○節の徒と同一又籠とも書  
 へしちひあり  
 ○燧の本と石の石  
 火とりとろり火鑽同  
 ○爐のいふとろり火函火鉢  
 かのいふ同地かへとびつ俗  
 にろり地炕同焙炉火櫃  
 ○火の煨糖のいふとろり  
 燼のいふとろり燼炎のいふ

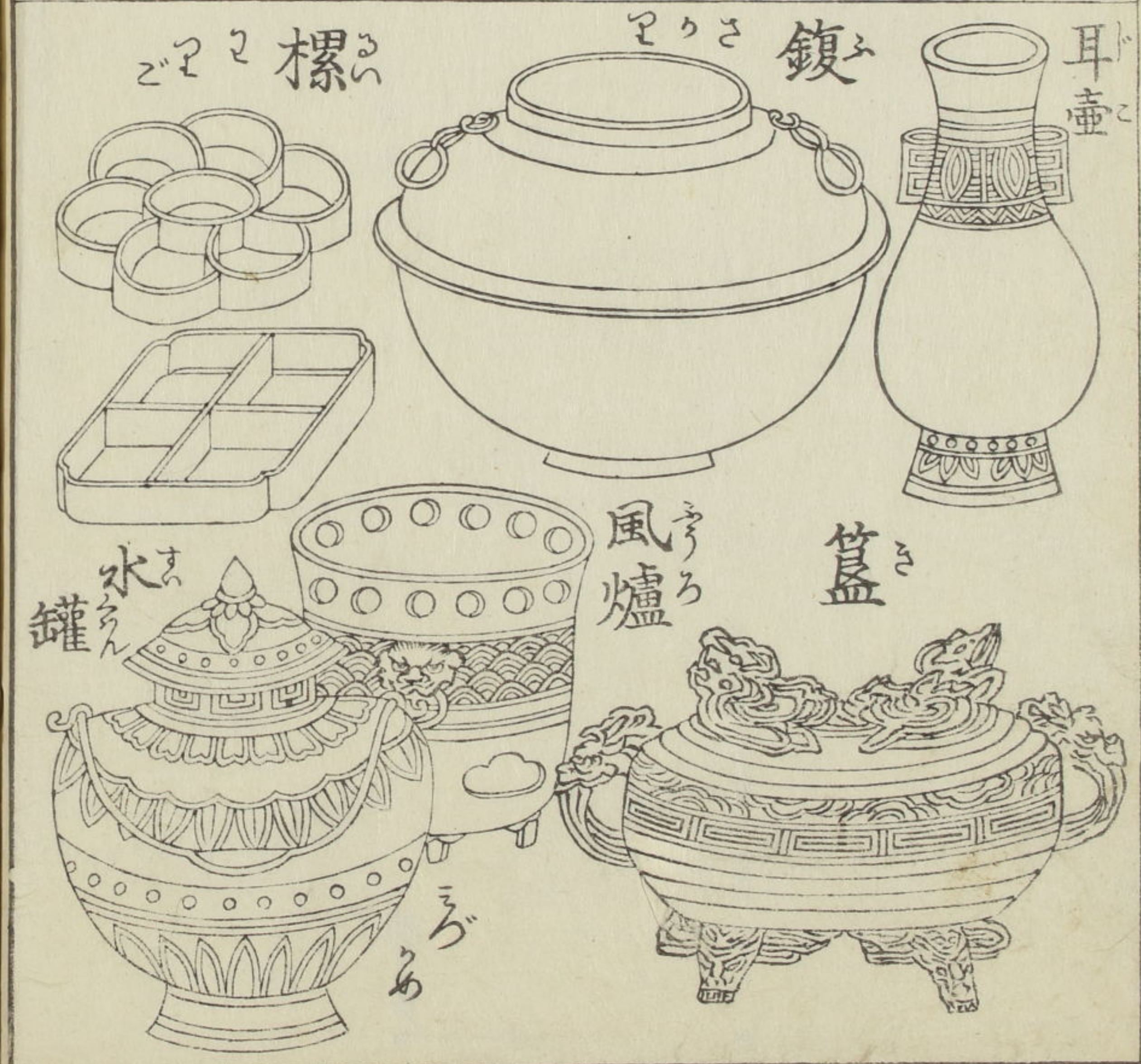


かのの灰とく煙けの燵  
 ○升の升とすす  
 十命と合と十合と升  
 十升とすす十升と斛  
 とと際のとろりともすす  
 きとも又す格と書  
 ○笈月の竹器あり俗の  
 いふとろり竹筒淘籬並筒  
 ○籃の竹器あり籠あり  
 籠同のいふともす  
 ○箕の物と簸ののあり  
 ○臼のいふともす  
 ○杵のいふともす味増の  
 餅とつ杵あり細腰杵  
 のいふともす  
 ○唾壺の痰とくあり今接

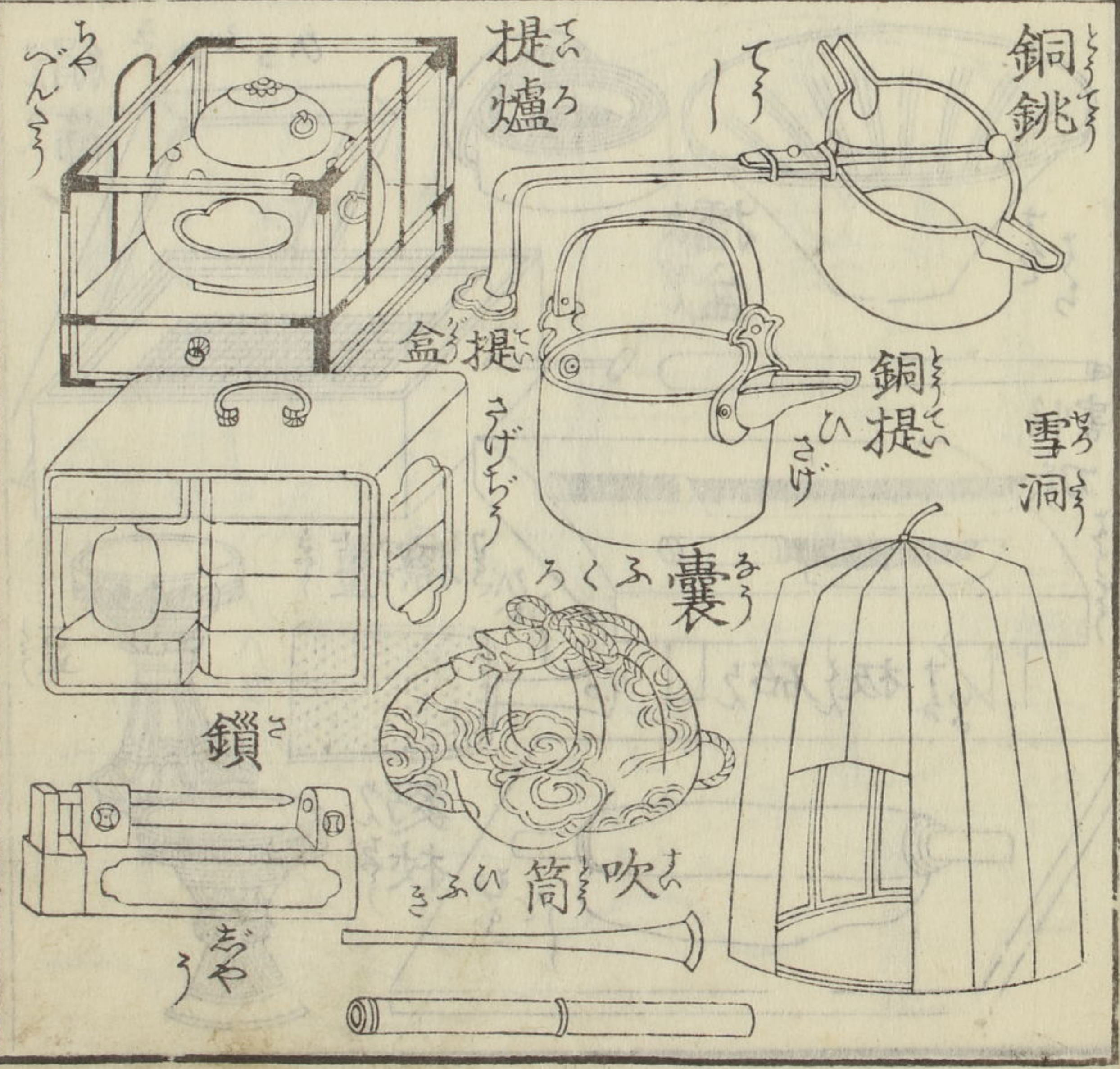




くる小塵壺の事々  
 ○温壺のゆへ湯と入て  
 足とわてむらりのあり今  
 の花瓶ふゆら也  
 ○解のゆへのさうぶさう  
 今の花瓶ふゆらもゆへ花  
 解ゆゆあり  
 ○紙ゆゆのさうぶさう  
 唐音にゆゆゆゆゆゆゆ  
 今花瓶ふゆら也  
 ○壘ゆゆのさうぶ酒と入  
 りのあり雲雷のゆゆゆ  
 ぶぐゆゆ壘ゆゆ  
 ○鐙ゆゆのさうぶ耳足  
 酒鐙薬鐙をゆゆ  
 ○湯波ゆゆゆゆゆ桐銅

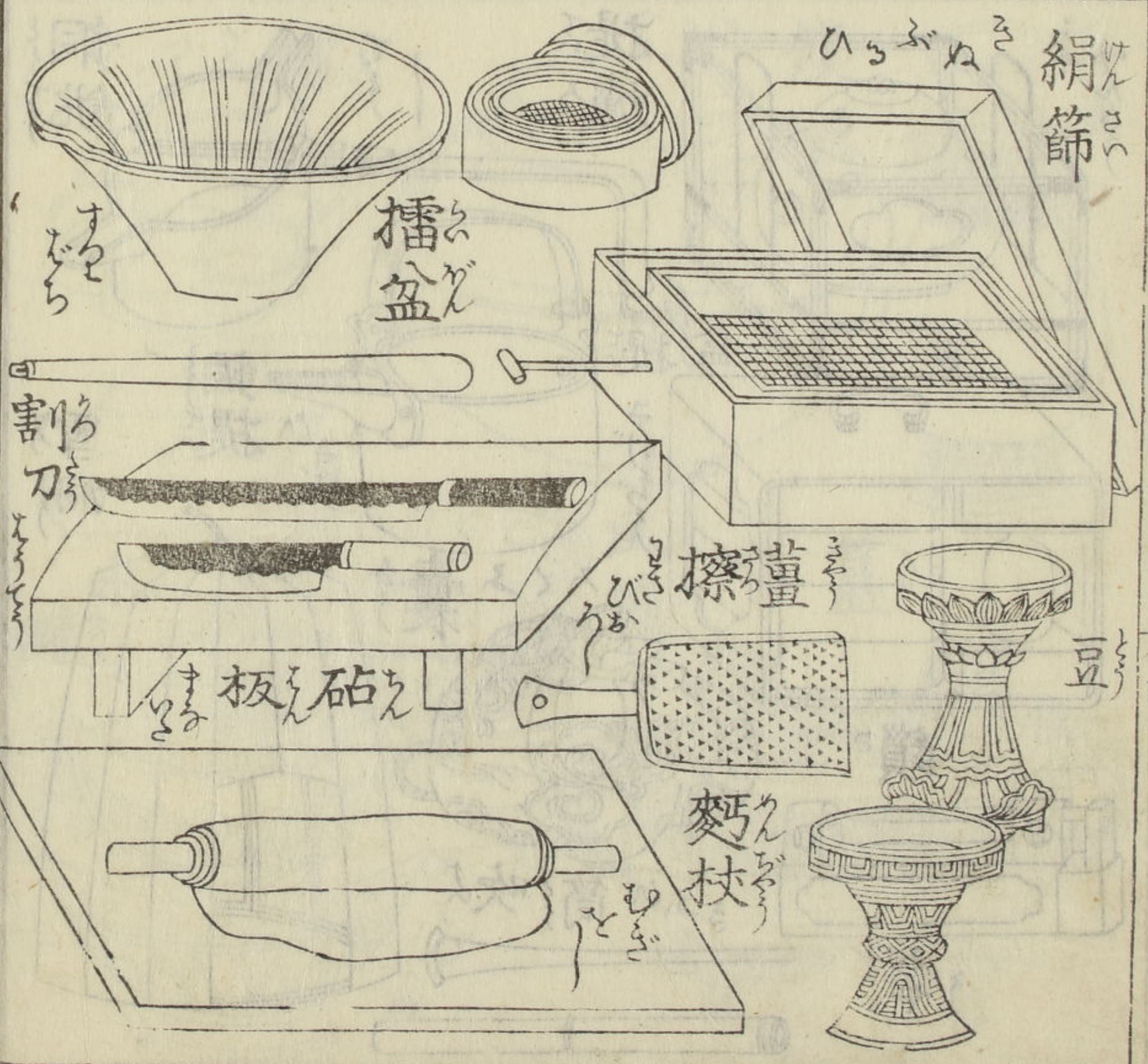


陶器ゆゆゆゆゆゆゆ  
 ともゆゆ今酒器ゆゆゆ  
 ○漏斗ゆゆの上戸あり酒と  
 入ゆゆゆあり  
 ○尊ゆゆの酒入たる  
 かるゆゆ今花瓶ふゆら也  
 ○彝ゆゆの酒尊ゆゆ今香  
 爐ゆゆと彝爐ゆゆ  
 ○筒ゆゆゆ箱の通称あり  
 食物ゆゆ衣類ゆゆゆあり  
 ○洗舌の鹽洗ゆゆゆゆ  
 の器ゆ俗小これと飯銅ゆゆ  
 ○簞ゆ古の祭のゆゆゆの  
 あり茶提ゆゆゆあり  
 ○湯罐ゆ湯とゆゆゆゆ

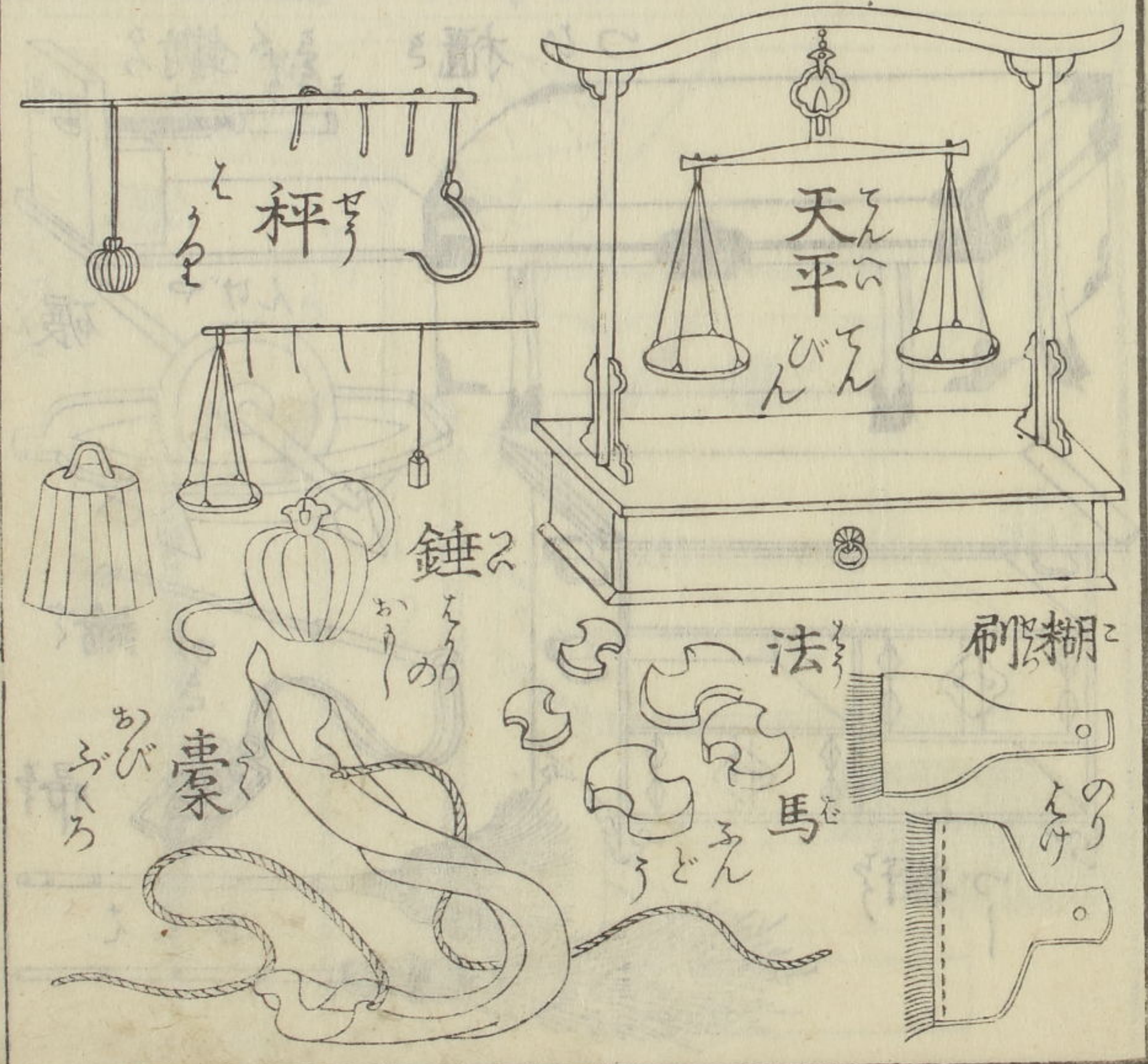




銅かね鑊くわくは今いま又また銅鑊かねくわくと云いふ今  
 の藥鑊くわくといふ  
 ○耳壺みみかのつゆ人の酒さけと入いる  
 つゆあり今いまの花瓶はなびんと云いふ  
 ○鍍くわくといふはありふらんを  
 かん茶ちやと煮ゆうぬあり  
 ○篋かの篋かと同一どうい祭器さいぎ也  
 食物しょくぶつが入いて先祖せんぞより多く  
 まつらひのあり  
 ○標あざの食物しょくぶつと入いるわかんを  
 今いまのふらんをかんを  
 ○風爐ふうろの茶炉ちやろ茶炉ちやろとも  
 に同どうふ金槽きんさうとも書かべ塗ぬ  
 師しのふらん陰室いんしつ  
 ○水罐みづかんはろと入いるあり  
 罐かんの罐かんと同どう

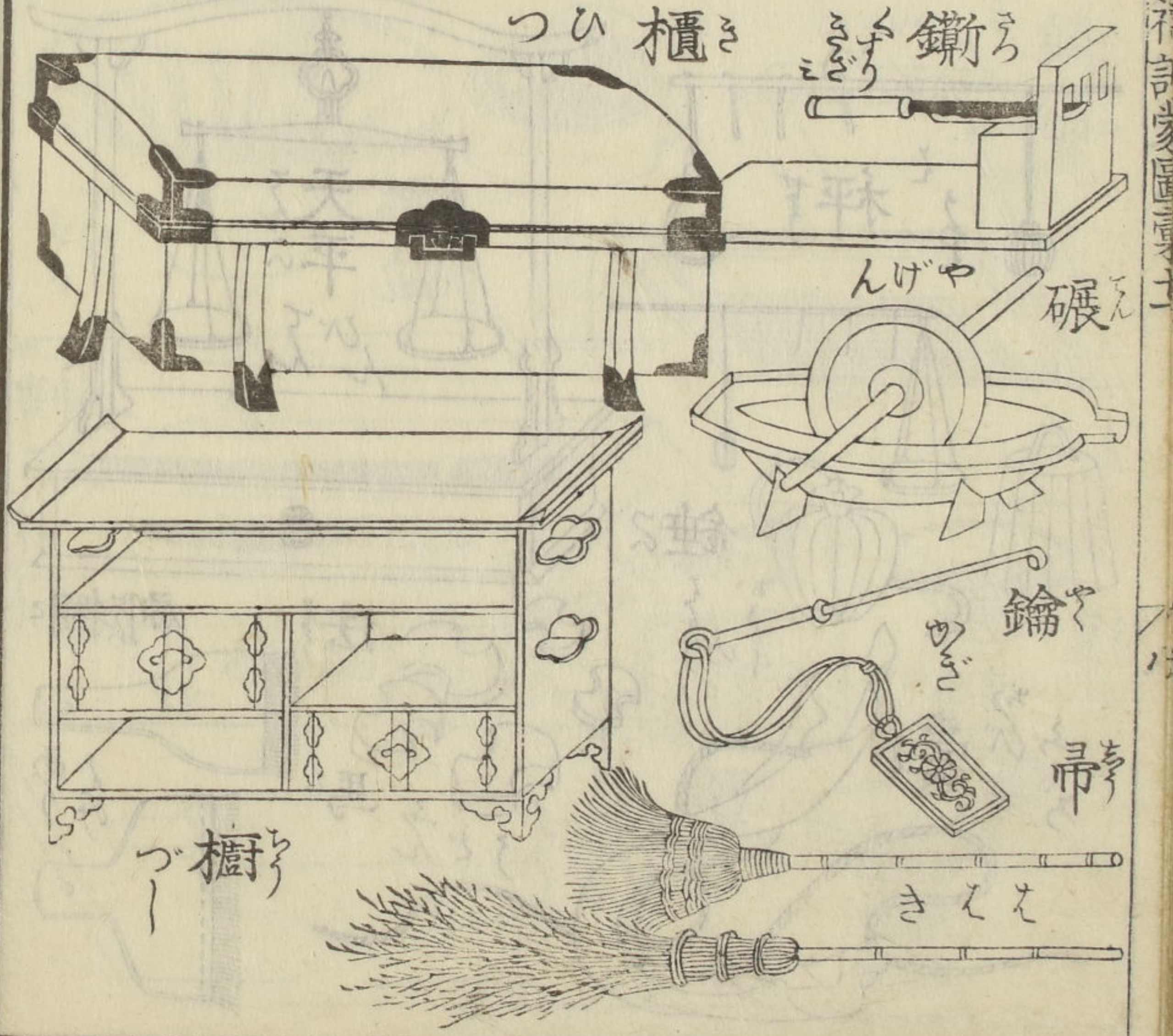


○銅鑊かねくわくは今いま又また銅鑊かねくわくと云いふ今  
 の酒さけといふものあり  
 ○銅提かねていは今いまの提子ていし也  
 酒さけといふゆらんものあり  
 ○提爐ていろは今いまの茶弁當ちやべんたう  
 あり又携爐けいろともいふ  
 ○提盒ていこは今いまの提重ていじゆうあり  
 又行厨けんちゆうともいふ  
 ○雪洞せつどうは小育せういくとも云いふ茶  
 炉ろとちやふらんものあり竹たけ小  
 紙しといふらんつら  
 ○囊ふくろ袋ふくろ俗ひんやい同どう  
 ○吹筒ふきとうは火か多おほなり竹たけ吹ふ火  
 管くだともいふ今いまもちやんと  
 といふ火かといふあり  
 ○鎖くわの音ね味あじ詳しやうのつと鎖くわ

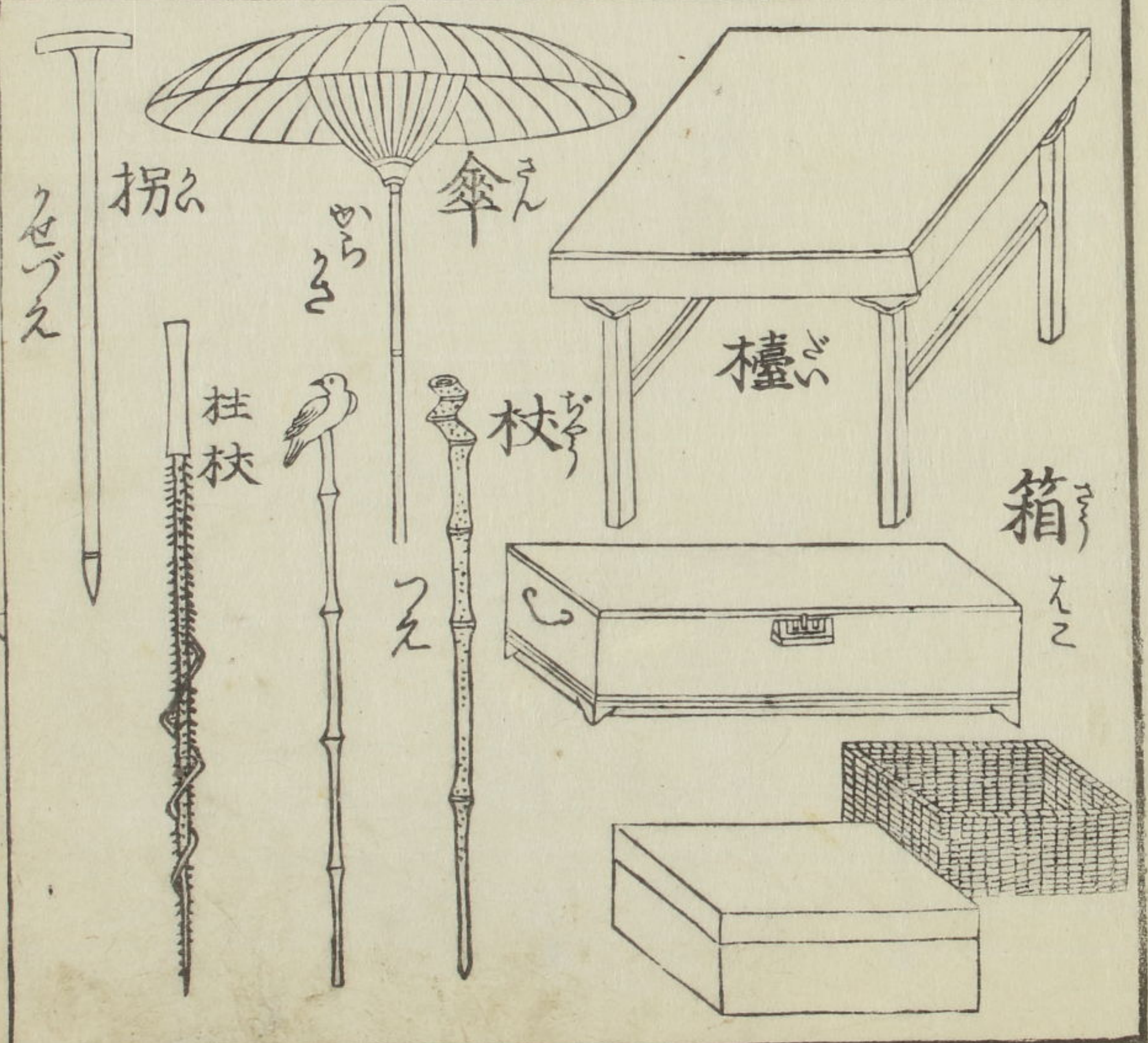




管とつとてと鎖須と云  
 ○絹飾のきぬやういあり  
 今按とるふ薬とるふを  
 羅合とるふ麩粉とるふを  
 羅斗とるふ  
 ○播盆のまじりならありかと  
 雷のごとくよつて播盆と云  
 播木播槌のまじりありと云  
 ○豆の糸に肉とのまじりあり  
 かり佛氏ふ菓子とのまじり  
 ○薑擦のまじりありと云  
 ○砧板の今のみすかしの石  
 又柳とも書べし肉机  
 魚盤のまじりありと云  
 ○割刀の今のみすかしの魚  
 とるふ力あり茶のまじりあり



○麩杖の今のみすかしの杖  
 一ふ軒麩杖ともいふ  
 ○天平の今のみすかしの口あり  
 平の秤の字は略ありと云  
 につりこる秤あり  
 ○法馬の今のみすかしの分銅あり  
 法子銅馬ともいふ  
 ○秤の釐等ありと云  
 盤の今のみすかしの衡と云  
 又公權とも錘ともいふ  
 杠秤の今のみすかしのあり  
 ○錘の今のみすかしのあり  
 權の今のみすかしのあり  
 さら梁同  
 ○糊刷の今のみすかしのあり  
 ○裏の底の今のみすかしのあり

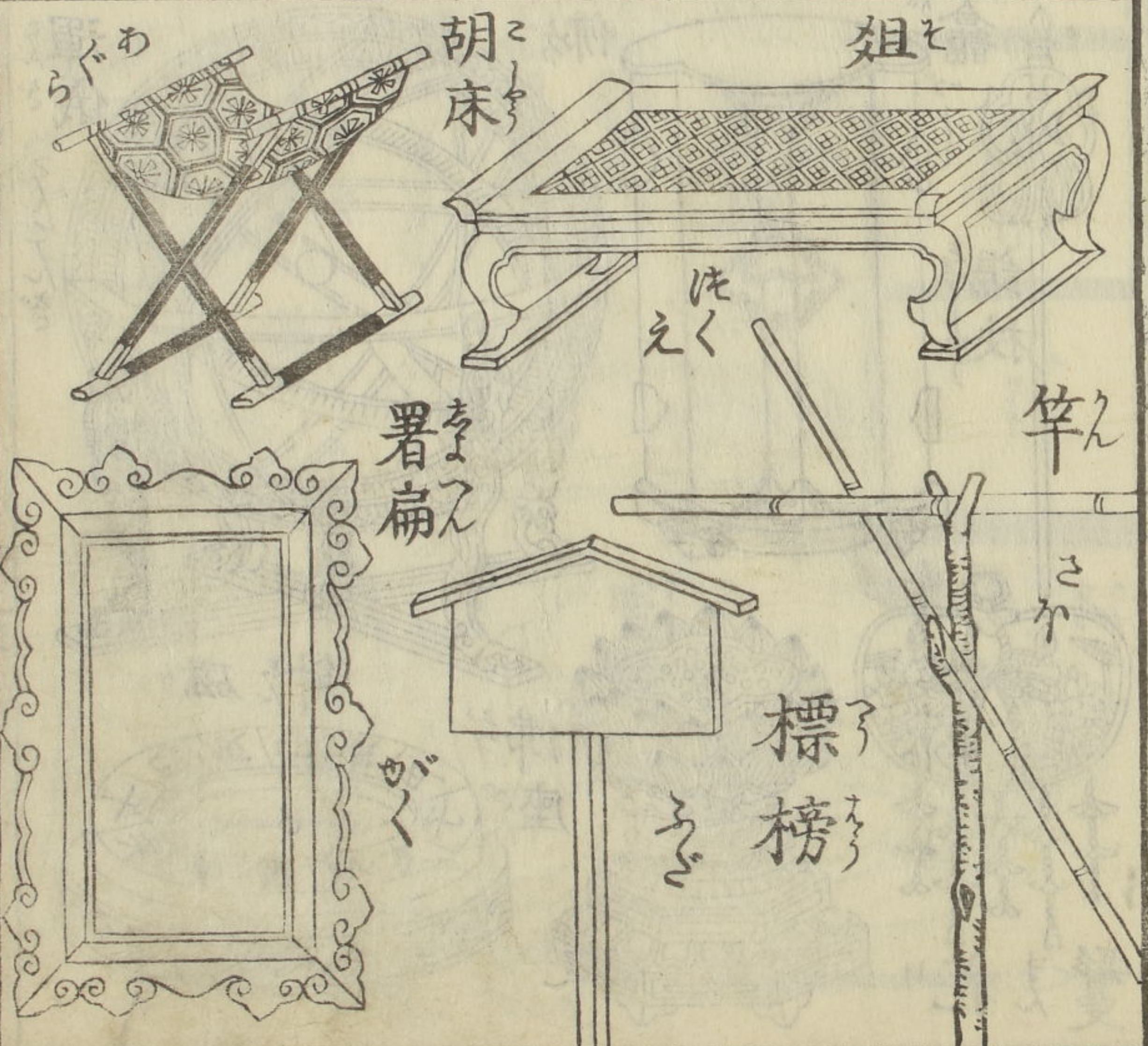
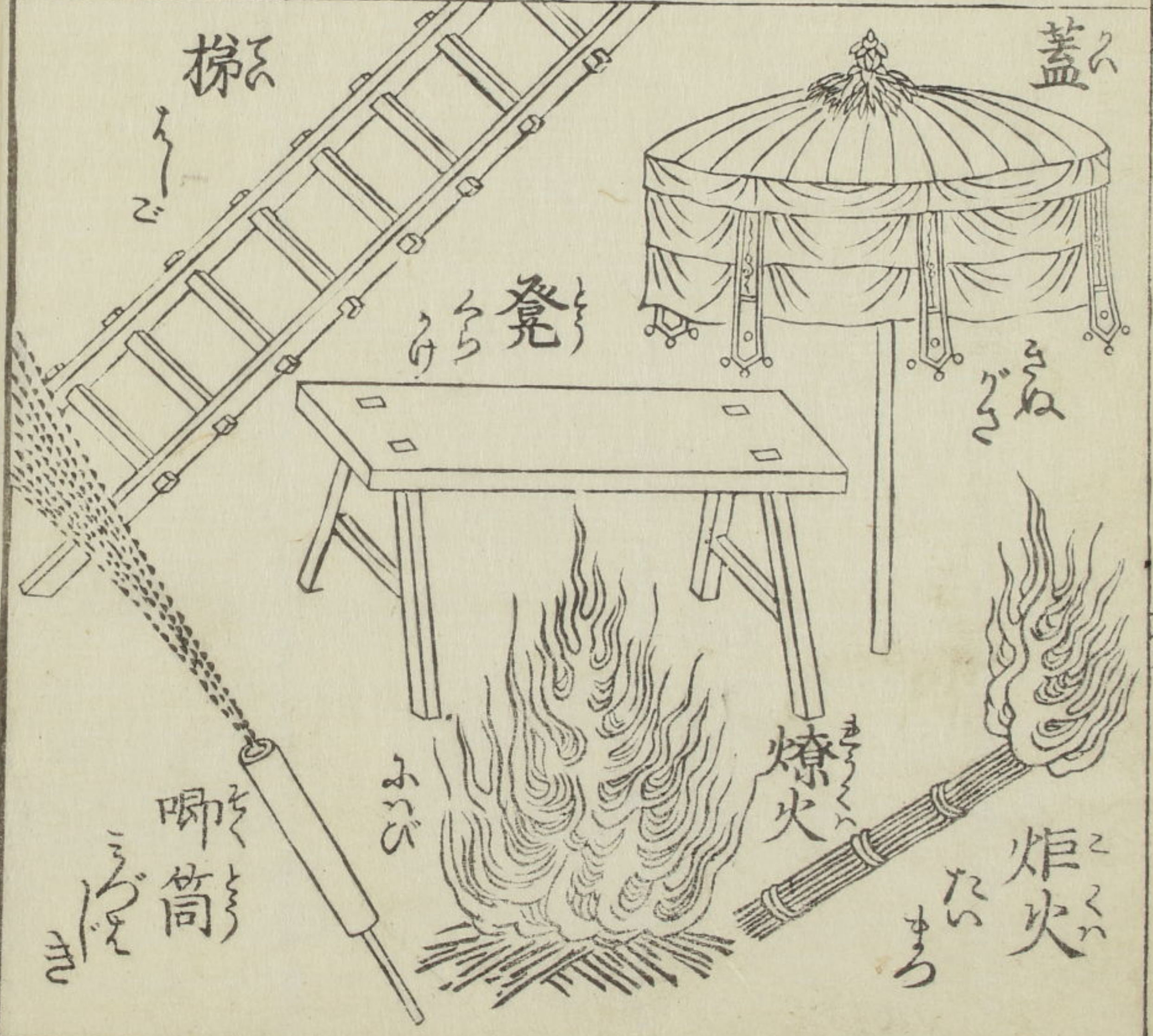


頁書増補言海圖集



俗のうらぐらと云ふ  
 ○鎌の葉刀のりり草と  
 なる具のりり今と云ふ  
 みふりら也  
 ○碾の農具のりり今と云ふ  
 と粉ふらる具と云ふ  
 碾とも茶研とも云ふ  
 ○櫃のりり書物衣服と  
 入りのりり唐櫃半櫃長  
 櫃あり  
 ○櫛の厨子のりり書厨を  
 又衣厨とも云ふ  
 ○鑪の鍵鑑のりり通ト  
 けらも云ふ  
 ○帚の帚同條帚のりり  
 とも掃帚をけら獨

帚のりり掃帚のりり  
 とも掃帚をけら獨  
 とも掃帚をけら獨  
 ○櫃のりり書物衣服と  
 入りのりり唐櫃半櫃長  
 櫃あり  
 ○櫛の厨子のりり書厨を  
 又衣厨とも云ふ  
 ○鑪の鍵鑑のりり通ト  
 けらも云ふ  
 ○帚の帚同條帚のりり  
 とも掃帚をけら獨

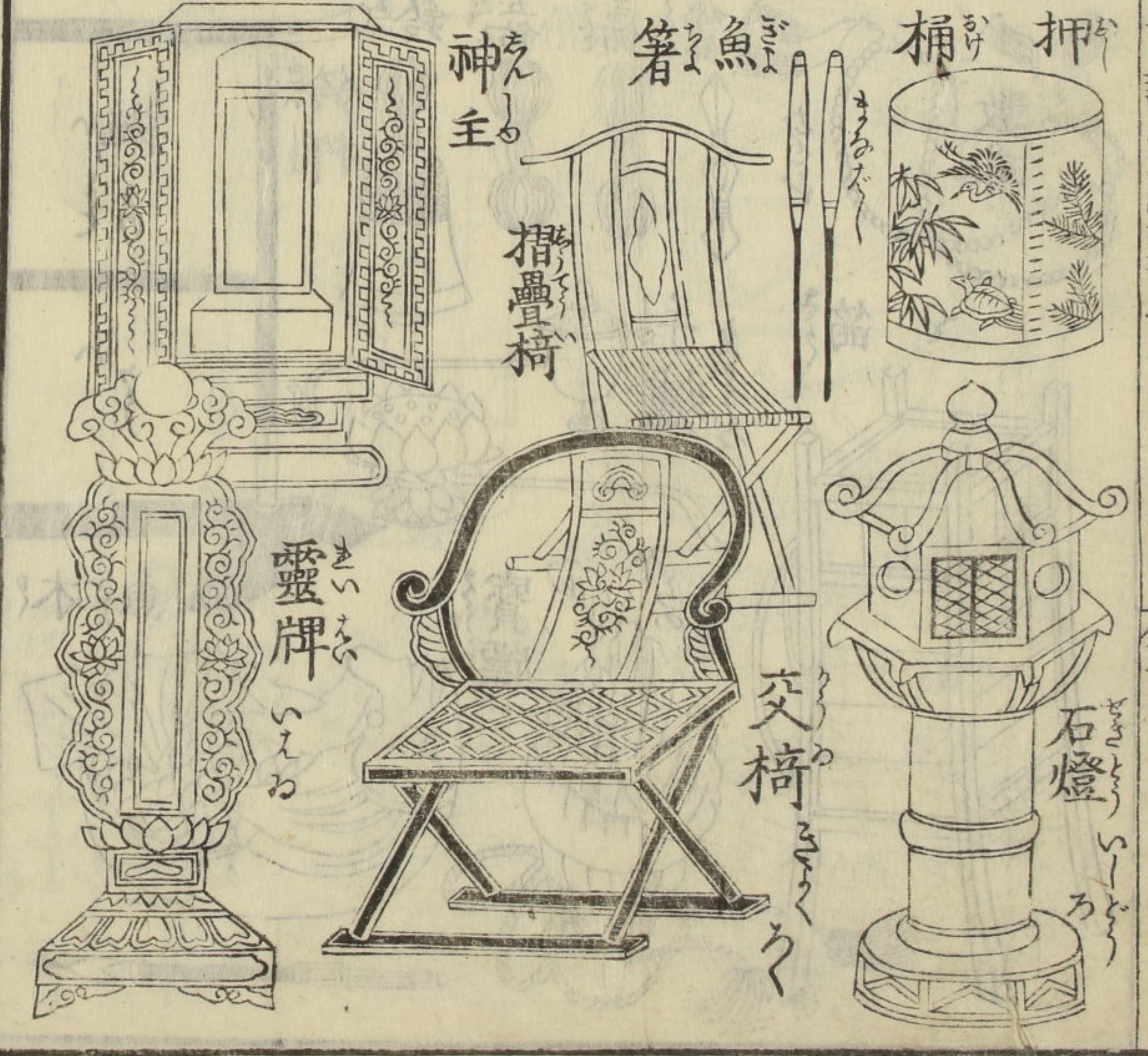




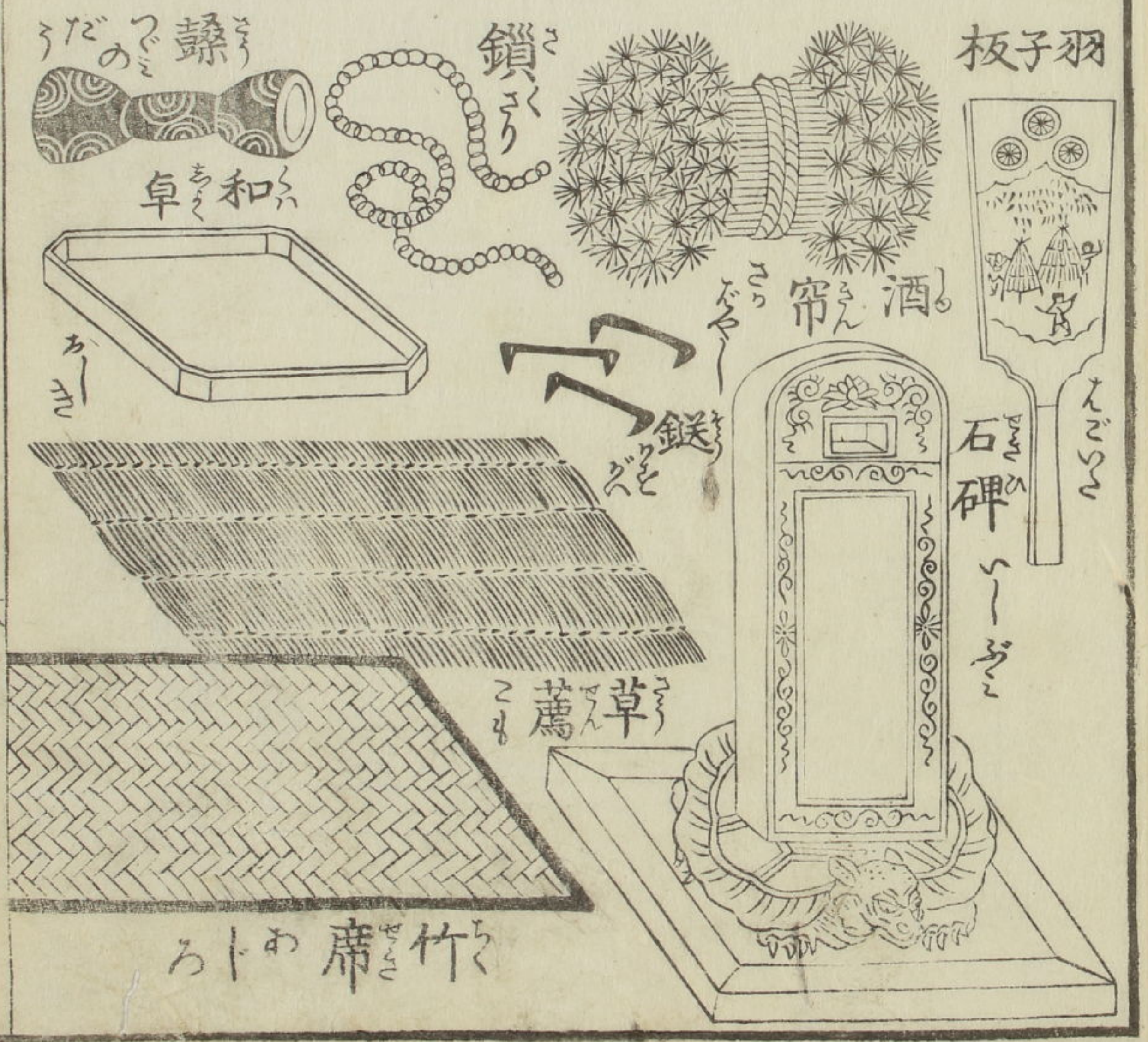




○佛座の蓮座あり獅子座須弥座荷葉座岩座唐座等あり  
 ○華鬘曼の西城の女首のふりあり瓔珞あり瓊のゆかりあり  
 ○錫杖の梵ふの隙葉羅といふあり  
 ○施の衣服といふものあり  
 ○衣打といふ衣架といふ  
 ○木魚のふて鯨魚のこらとつらりその声のたつらふまを  
 つらつて鐘と鯨といふ神家  
 ありあり  
 ○鈴の口金舌かや真言修法の具あり

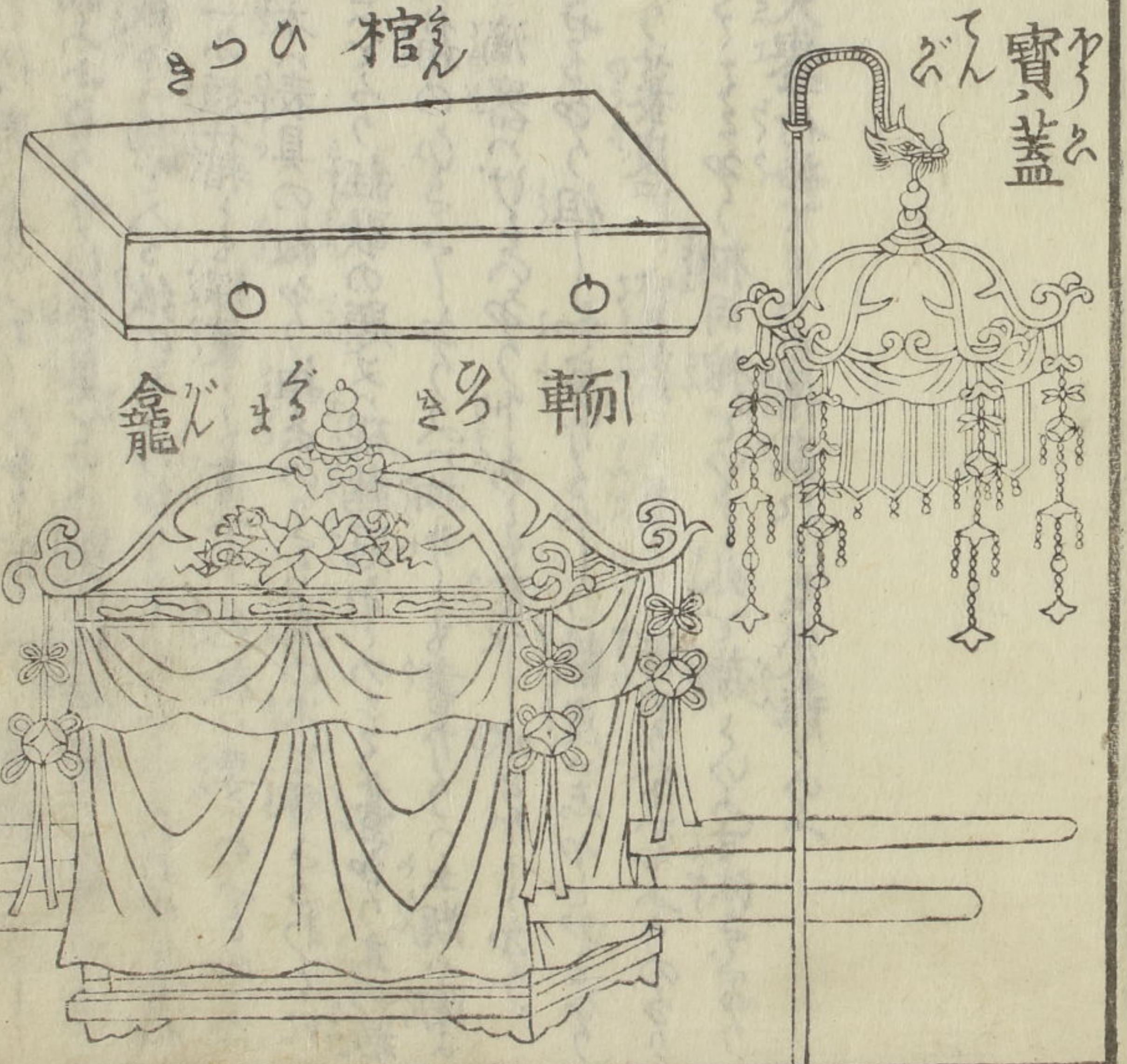


○杵の獨鈷二鈷五鈷の三色ありこり小真言家の具あり  
 ○手爐へえぐる和尚上人是と持して佛前ふいふ  
 ○數珠の念珠なり諸宗ありあり  
 ○寶牒のわりのくろり海中の校尾螺とくろり法螺とも林凡貝ともいふ修験の家への軍陣ふふ  
 ○笛のわりの山伏のわりのあり爰とも書あり  
 ○押桶の産のとき胎衣を入る桶なりまげおふと鶴亀とあり  
 ○石燈の佛神のふあり





のりあり胡鬼紙ともいふ  
 ○酒帘さかすまともいふやしかなと  
 一ふ望子のぞこともいふ酒望子  
 ともいふやまうてとともいふ  
 一とと  
 ○錠じやうありともいふかきと鉄てつを  
 ともいふつる鉄同  
 ○鎖さありともいふ鉄鎖銅  
 鎖さありともいふ銀鎖とも  
 書かきあり  
 ○藤ふじありともいふたうありと  
 櫃ひらとも書あり  
 ○和卓わたくありともいふやまうて  
 ともいふとともいふておと  
 とも書あり  
 ○草薦くさせんありともいふありとも



頁目三首南川支圖畫二

又在家いかに水鉢みづはちのふも  
 いいとろ  
 ○魚箸うまづしありともいふ也魚うま繪え箸し  
 又肉箸にくづしとも書あり  
 ○交椅かうぎありともいふ曲まが録ろくのこ  
 とあり字未詳  
 ○摺疊椅すりせつぎありともいふ曲まが録ろくあり  
 ○神主かみの廟やしろ主ぬしあり儒者にうしや  
 のいともいふ神かみ主ぬしあり  
 ともいふと積つみともいふ  
 ○靈牌れいはいあり佛者ぶつしやのいともいふ也  
 ともいふと積つみともいふ  
 ○石碑いしあり墓所むらじありともいふ石いし  
 塔たかありともいふと積つみともいふ碑いし  
 銘めいとも書あり  
 ○羽子板うしこあり正月しょうげつふ羽うしことつく

